

# 平成 29 年度奄美市幸福度調査アンケート

## — 調査結果報告書 —

平成 30 年 2 月

奄美市

# 目 次

---

## I 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収数	1
6. 調査項目	2

## II 集計結果

1. 回答者の属性	3
2. 集計結果	4
(1) 生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？	4
(2) 将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？	5
(3) 結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？	6
(4) 愛着度／あなたは奄美が好きですか？	7
(5) 教育環境の満足度／奄美は、子どもがいまいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？	8
(6) 医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？	9
(7) 地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？	10
(8) 招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？	11
(9) おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？	12
(10) 永住希望度／あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？	13
(11) 各項目の比較	14
(12) 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？	15
(13) 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？	27
(14) テキストマイニングによる「幸せ」や「満足」と感じること、「不幸」や「不満」と感じることの分析	40
3. 奄美幸福度指数	42
(1) 奄美幸福度 DI	42
(2) レーダーチャート	42
4. 平成 28 年度との比較	43

## 参考資料

アンケート調査票	53
----------	----

# I 調査概要

平成 27 年 12 月に策定された「～しあわせの島へ～奄美市『攻め』の総合戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）」の事業実施によって、島の目指すべき姿である「しあわせの島」に近づいているか、市民を対象としたアンケート調査を実施し、奄美幸福度指数（AHI：Amami Happiness Index）を算出した。

## 1. 調査の目的

○奄美市では、平成 27 年 12 月に策定した「～しあわせの島へ～奄美市『攻め』の総合戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）」において、島の目指すべき姿として「しあわせの島」を提示し「しあわせの島」の重要目標達成指標（KGI）は、住民がしあわせに暮らしていると実感している指数＝奄美幸福度指数（AHI：Amami Happiness Index）とした。

○市民を対象としたアンケート調査を実施し、総合戦略の事業実施によって奄美が「しあわせの島」に近づいているか、奄美幸福度指数を算出し、その達成度を把握するとともに、事業の進捗状況及び見直しの基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査対象

○18 歳以上の市民 2,000 人とし、性別・年代別・居住地区別の対象者数は以下のとおり。

〔性別・年代別・居住地区別 対象者数〕

年代	名瀬		住用			笠利		合計		構成比	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性			
18・19 歳	41	18	23	7	6	1	28	14	14	76	3.8%
20 歳代	155	75	80	27	13	14	28	14	14	210	10.5%
30 歳代	243	117	126	28	14	14	28	14	14	299	15.0%
40 歳代	216	108	108	28	13	15	30	15	15	274	13.7%
50 歳代	239	121	118	27	13	14	47	23	24	313	15.7%
60 歳代	269	130	139	27	13	14	57	30	27	353	17.7%
70 歳代	209	88	121	27	13	14	44	20	24	280	14.0%
80 歳以上	140	70	70	25	12	13	30	16	14	195	9.8%
合計	1,512	727	785	196	97	99	292	146	146	2,000	100.0%

## 3. 調査方法

○郵送配布・郵送回収。

## 4. 調査期間

○平成 30 年 1 月～平成 30 年 2 月

## 5. 回収数

○有効回答数：795 件（回収率：39.8%）

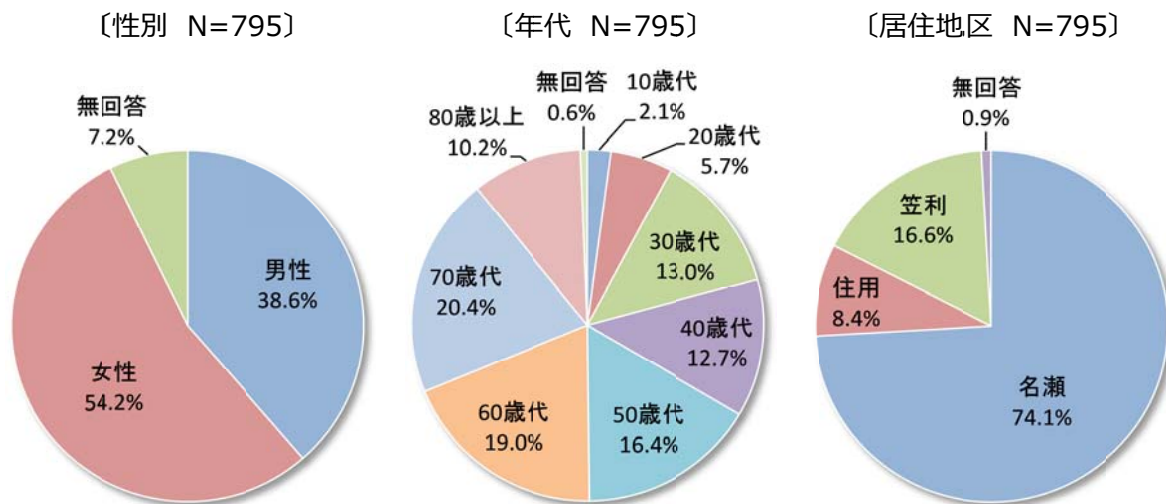
## 6. 調査項目

- 回答者の属性（性別、年代、居住地区）
- あなたは日常生活に対して満足していますか？
- あなたは将来に希望を持っていますか？
- あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？
- あなたは奄美が好きですか？
- 奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？
- 奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？
- あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？
- あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？
- あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？
- あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？
- 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事
- 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事

## Ⅱ 調査結果

### 1. 回答者の属性

回答者 795 人の属性は、以下のとおりとなっている。



## 2. 集計結果

### (1) 生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？

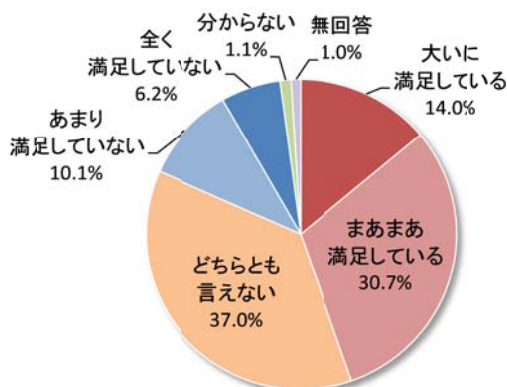
日常生活に対して満足しているか（生活の満足度）について、「どちらとも言えない」が37.0%で最も多く、『満足している（「大いに満足している」と「まあまあ満足している」の合計）』は44.7%で4割以上となっている。なお、「あまり満足していない」は10.1%、「全く満足していない」は6.2%となっている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで「まあまあ満足している」となっているが、『満足している』は男性が39.1%なのに対し、女性は48.9%と多くなっている。

年代別では、40歳以上は全体と同様に「どちらとも言えない」、10歳代では「大いに満足している」、20歳代は「まあまあ満足している」、30歳代は「まあまあ満足している」と「どちらでもない」が同率で、それぞれ最も多くなっている。一方、20歳代と40歳代は『満足していない（「あまり満足していない」と「全く満足していない」の合計）』がそれぞれ28.9%、21.8%と2割を超えている。

居住地区別では、名瀬と住用は全体と同様に「どちらとも言えない」、笠利は「まあまあ満足している」がそれぞれ最も多くなっている。

〔生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？ N=795〕



		大いに満足している	まあまあ満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない	分からない	無回答
性別	男性(N=307)	32 10.4%	88 28.7%	126 41.0%	33 10.7%	24 7.8%	1 0.3%	3 1.0%
	女性(N=431)	67 15.5%	144 33.4%	147 34.1%	41 9.5%	21 4.9%	8 1.9%	3 0.7%
年代別	10歳代(N=17)	6 35.3%	5 29.4%	3 17.6%	2 11.8%	1 5.9%	-	-
	20歳代(N=45)	3 6.7%	15 33.3%	13 28.9%	10 22.2%	3 6.7%	1 2.2%	-
	30歳代(N=103)	13 12.6%	37 35.9%	37 35.9%	9 8.7%	7 6.8%	-	-
	40歳代(N=101)	13 12.9%	27 26.7%	37 36.6%	14 13.9%	8 7.9%	1 1.0%	1 1.0%
	50歳代(N=130)	11 8.5%	47 36.2%	50 38.5%	14 10.8%	6 4.6%	2 1.5%	-
	60歳代(N=151)	19 12.6%	49 32.5%	56 37.1%	13 8.6%	13 8.6%	-	1 0.7%
	70歳代(N=162)	26 16.0%	45 27.8%	68 42.0%	10 6.2%	8 4.9%	1 0.6%	4 2.5%
	80歳以上(N=81)	19 23.5%	17 21.0%	29 35.8%	8 9.9%	3 3.7%	4 4.9%	1 1.2%
居住地区別	名瀬(N=589)	80 13.6%	177 30.1%	224 38.0%	61 10.4%	38 6.5%	4 0.7%	5 0.8%
	住用(N=67)	6 9.0%	17 25.4%	28 41.8%	7 10.4%	4 6.0%	5 7.5%	-
	笠利(N=132)	25 18.9%	48 36.4%	41 31.1%	11 8.3%	5 3.8%	-	2 1.5%

(2) 将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？

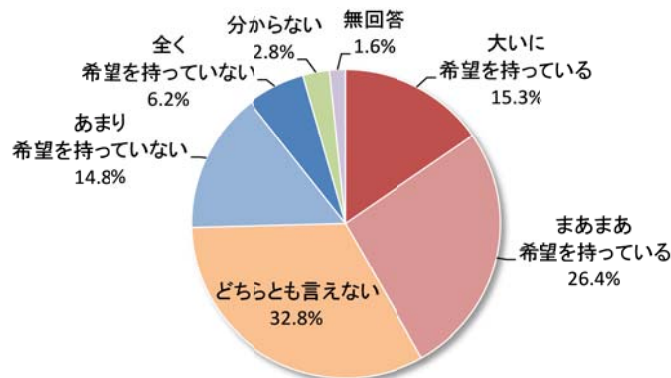
将来に希望を持っているか（将来への希望度）について、「どちらとも言えない」が32.8%で最も多く、『希望を持っている（「大いに希望を持っている」と「まあまあ希望を持っている」の合計）』は41.7%で4割以上となっている一方、『希望を持っていない（「あまり希望を持っていない」と「全く希望を持っていない」の合計）』も21.0%と約2割みられる。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで「まあまあ希望を持っている」となっているが、『希望を持っていない』は女性が18.8%なのに対し、男性は24.4%と多くなっている。

年代別では、20歳代と40歳以上は全体と同様に「どちらとも言えない」、10歳代では「大いに希望を持っている」、30歳代は「まあまあ希望を持っている」がそれぞれ最も多くなっている。40歳代は『希望を持っていない』が29.7%で約3割となっており、他年代に比べ多くなっている。

居住地区別では、名瀬と笠利は全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多くなっている。住用は「まあまあ希望を持っている」が最も多い一方、『希望を持っていない』が29.9%で約3割となっており、「分からない」も約1割みられる。

〔将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？ N=795〕



		大いに希望を持っている	まあまあ希望を持っている	どちらとも言えない	あまり希望を持っていない	全く希望を持っていない	分からない	無回答
性別	男性(N=307)	44 14.3%	69 22.5%	109 35.5%	55 17.9%	20 6.5%	7 2.3%	3 1.0%
	女性(N=431)	67 15.5%	128 29.7%	133 30.9%	56 13.0%	25 5.8%	14 3.2%	8 1.9%
年代別	10歳代(N=17)	8 47.1%	3 17.6%	3 17.6%	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	-
	20歳代(N=45)	5 11.1%	11 24.4%	16 35.6%	9 20.0%	2 4.4%	1 2.2%	1 2.2%
	30歳代(N=103)	21 20.4%	40 38.8%	19 18.4%	15 14.6%	5 4.9%	3 2.9%	-
	40歳代(N=101)	20 19.8%	23 22.8%	26 25.7%	24 23.8%	6 5.9%	2 2.0%	-
	50歳代(N=130)	14 10.8%	37 28.5%	47 36.2%	27 20.8%	2 1.5%	3 2.3%	-
	60歳代(N=151)	10 6.6%	38 25.2%	65 43.0%	18 11.9%	17 11.3%	-	3 2.0%
	70歳代(N=162)	25 15.4%	37 22.8%	62 38.3%	18 11.1%	10 6.2%	6 3.7%	4 2.5%
	80歳以上(N=81)	19 23.5%	19 23.5%	22 27.2%	5 6.2%	6 7.4%	6 7.4%	4 4.9%
居住地区別	名瀬(N=589)	93 15.8%	147 25.0%	204 34.6%	91 15.4%	34 5.8%	11 1.9%	9 1.5%
	住用(N=67)	6 9.0%	20 29.9%	14 20.9%	14 20.9%	6 9.0%	7 10.4%	-
	笠利(N=132)	22 16.7%	41 31.1%	42 31.8%	13 9.8%	7 5.3%	4 3.0%	3 2.3%

(3) 結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？

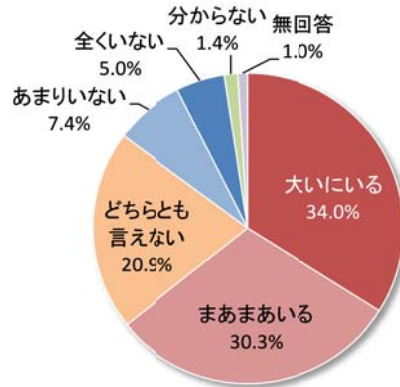
困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいるか(結い度)について、「大いにいる」が34.0%で最も多く、『いる(「大いにいる」と「まあまあいる」の合計)』は64.3%で6割以上となっている。なお、「どちらとも言えない」は20.9%、「あまりいない」は7.4%、「全くいない」は5.0%となっている。

これを属性別にみると、性別では、女性は全体と同様に「大いにいる」、男性は「まあまあいる」がそれぞれ最も多くなっている。『いる』は男性が54.4%なのに対し、女性は71.7%で7割を超え多くなっている。

年代別では、10歳代と30歳代、70歳以上は全体と同様に「大いにいる」、20歳代と40～60歳代は「まあまあいる」がそれぞれ最も多くなっている。全ての年代で『いる』が5割を超えているが、特に30歳代は約7割、10歳代は8割以上となっている。

居住地区別では、どの地区とも全体と同様に「大いにいる」が最も多く、次いで「まあまあいる」となっているが、特に笠利は『いる』が72.0%で7割を超え、他地区に比べ多くなっている。

〔結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？ N=795〕



		大いにいる	まあまあいる	どちらとも言えない	あまりいない	全くいない	分からない	無回答
性別	男性(N=307)	80 26.1%	87 28.3%	84 27.4%	34 11.1%	18 5.9%	3 1.0%	1 0.3%
	女性(N=431)	169 39.2%	140 32.5%	70 16.2%	22 5.1%	16 3.7%	8 1.9%	6 1.4%
年代別	10歳代(N=17)	9 52.9%	5 29.4%	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	-	-
	20歳代(N=45)	9 20.0%	19 42.2%	10 22.2%	4 8.9%	2 4.4%	1 2.2%	-
	30歳代(N=103)	47 45.6%	26 25.2%	18 17.5%	8 7.8%	3 2.9%	1 1.0%	-
	40歳代(N=101)	30 29.7%	32 31.7%	22 21.8%	12 11.9%	4 4.0%	-	1 1.0%
	50歳代(N=130)	40 30.8%	42 32.3%	36 27.7%	10 7.7%	2 1.5%	-	-
	60歳代(N=151)	43 28.5%	46 30.5%	33 21.9%	11 7.3%	14 9.3%	3 2.0%	1 0.7%
	70歳代(N=162)	56 34.6%	55 34.0%	30 18.5%	10 6.2%	9 5.6%	-	2 1.2%
	80歳以上(N=81)	36 44.4%	14 17.3%	14 17.3%	3 3.7%	5 6.2%	6 7.4%	3 3.7%
居住地区別	名瀬(N=589)	192 32.6%	180 30.6%	128 21.7%	44 7.5%	33 5.6%	6 1.0%	6 1.0%
	住用(N=67)	22 32.8%	21 31.3%	11 16.4%	7 10.4%	2 3.0%	4 6.0%	-
	笠利(N=132)	55 41.7%	40 30.3%	25 18.9%	8 6.1%	2 1.5%	1 0.8%	1 0.8%



(4) 愛着度／あなたは奄美が好きですか？

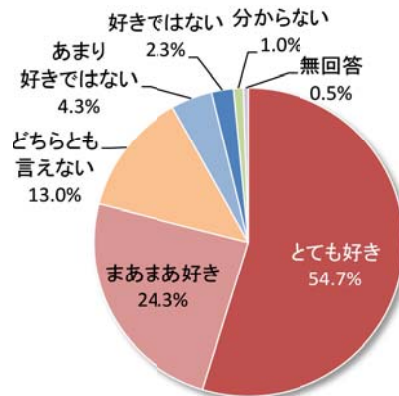
奄美が好きか（愛着度）について、「とても好き」が54.7%で最も多く、『好き（「とても好き」と「まあまあ好き」の合計）』は79.0%で約8割となっている。なお、「どちらとも言えない」は13.0%、「あまり好きではない」は4.3%、「好きではない」は2.3%となっている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「とても好き」が最も多く、次いで「まあまあ好き」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、全ての年代で全体と同様に「とても好き」が最も多く、次いで「まあまあ好き」となっている。特に50歳代と70歳以上で『好き』が8割を超え他年代に比べ多くなっている一方、10歳代と40歳代では『好きではない（「あまり好きではない」と「好きではない」の合計）』がそれぞれ1割を超えている。

居住地区別では、どの地区でも全体と同様に「とても好き」が最も多く、次いで「まあまあ好き」となっており、特に笠利は『好き』が86.4%で8割を超え、他地区に比べ多くなっている。

〔愛着度／あなたは奄美が好きですか？ N=795〕



		とても好き	まあまあ好き	どちらとも言えない	あまり好きではない	好きではない	分からない	無回答
性別	男性(N=307)	162 52.8%	76 24.8%	42 13.7%	14 4.6%	11 3.6%	1 0.3%	1 0.3%
	女性(N=431)	237 55.0%	110 25.5%	53 12.3%	18 4.2%	5 1.2%	6 1.4%	2 0.5%
年代別	10歳代(N=17)	10 58.8%	3 17.6%	2 11.8%	-	2 11.8%	-	-
	20歳代(N=45)	22 48.9%	12 26.7%	6 13.3%	3 6.7%	1 2.2%	1 2.2%	-
	30歳代(N=103)	42 40.8%	34 33.0%	21 20.4%	4 3.9%	2 1.9%	-	-
	40歳代(N=101)	44 43.6%	28 27.7%	17 16.8%	10 9.9%	2 2.0%	-	-
	50歳代(N=130)	64 49.2%	41 31.5%	17 13.1%	5 3.8%	-	3 2.3%	-
	60歳代(N=151)	83 55.0%	37 24.5%	19 12.6%	5 3.3%	6 4.0%	-	1 0.7%
	70歳代(N=162)	111 68.5%	26 16.0%	17 10.5%	5 3.1%	3 1.9%	-	-
	80歳以上(N=81)	57 70.4%	11 13.6%	3 3.7%	2 2.5%	2 2.5%	4 4.9%	2 2.5%
居住地区別	名瀬(N=589)	310 52.6%	155 26.3%	78 13.2%	28 4.8%	13 2.2%	4 0.7%	1 0.2%
	住用(N=67)	30 44.8%	16 23.9%	13 19.4%	2 3.0%	2 3.0%	4 6.0%	-
	笠利(N=132)	94 71.2%	20 15.2%	10 7.6%	4 3.0%	2 1.5%	-	2 1.5%

(5) 教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？

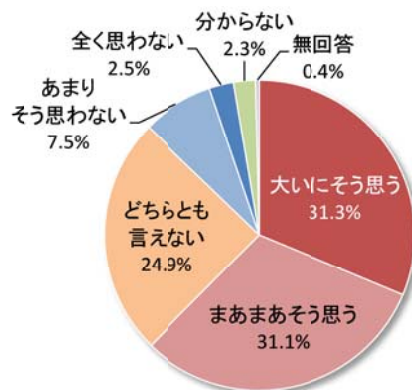
子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思うか（教育環境の満足度）について、「大いにそう思う」が31.3%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は62.4%で6割以上となっている。なお、「どちらとも言えない」は24.9%、「あまりそう思わない」は7.5%、「全く思わない」は2.5%となっている。

これを属性別にみると、性別では、男性は「まあまあそう思う」、女性は「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」が同率で、それぞれ最も多くなっている。

年代別では、10歳代と30歳代、70歳以上は全体と同様に「大いにそう思う」、40歳代は「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」が同率、20歳代と50～60歳代は「まあまあそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。30～40歳代の子育て世代については、『そう思う』がそれぞれ6割を超えている一方、60歳代では58.3%と6割を下回っている。

居住地区別では、笠利は全体と同様に「大いにそう思う」、名瀬は「まあまあそう思う」がそれぞれ最も多くなっており、住用は「どちらとも言えない」が最も多く、『そう思う』が46.3%と5割を下回り他地区と比べ少なくなっている。

〔教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？ N=795〕



		大いにそう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=307)	90 29.3%	99 32.2%	74 24.1%	25 8.1%	12 3.9%	7 2.3%	-
	女性(N=431)	138 32.0%	138 32.0%	110 25.5%	28 6.5%	5 1.2%	11 2.6%	1 0.2%
年代別	10歳代(N=17)	9 52.9%	3 17.6%	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	2 11.8%	-
	20歳代(N=45)	12 26.7%	16 35.6%	11 24.4%	2 4.4%	3 6.7%	1 2.2%	-
	30歳代(N=103)	37 35.9%	26 25.2%	27 26.2%	8 7.8%	3 2.9%	2 1.9%	-
	40歳代(N=101)	32 31.7%	32 31.7%	26 25.7%	10 9.9%	1 1.0%	-	-
	50歳代(N=130)	27 20.8%	52 40.0%	33 25.4%	12 9.2%	4 3.1%	2 1.5%	-
	60歳代(N=151)	39 25.8%	49 32.5%	43 28.5%	15 9.9%	3 2.0%	2 1.3%	-
	70歳代(N=162)	62 38.3%	47 29.0%	38 23.5%	9 5.6%	3 1.9%	2 1.2%	1 0.6%
	80歳以上(N=81)	30 37.0%	22 27.2%	17 21.0%	2 2.5%	2 2.5%	7 8.6%	1 1.2%
居住地区別	名瀬(N=589)	168 28.5%	197 33.4%	148 25.1%	50 8.5%	14 2.4%	11 1.9%	1 0.2%
	住用(N=67)	15 22.4%	16 23.9%	24 35.8%	4 6.0%	3 4.5%	5 7.5%	-
	笠利(N=132)	65 49.2%	33 25.0%	24 18.2%	5 3.8%	2 1.5%	2 1.5%	1 0.8%

(6) 医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？

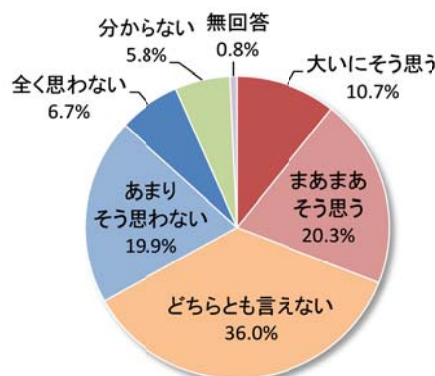
高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思うか（医療・福祉環境の満足度）について、「どちらとも言えない」が36.0%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は31.0%で3割以上となっている。一方、『そう思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』は26.6%で3割弱となっている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで男性は「あまりそう思わない」、女性は「まあまあそう思う」となっている。

年代別では、10歳代と30歳以上は、全体と同様に「どちらとも言えない」、20歳代は「どちらとも言えない」と「あまりそう思わない」が同率でそれぞれ最も多くなっている。なお、60歳未満は『そう思わない』が『そう思う』を上回っているが、60歳以上では『そう思う』が『そう思わない』を上回っている。

居住地区別では、どの地区でも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多くなっているが、笠利は『そう思う』が39.4%で約4割と、他地区に比べ多くなっている。

〔医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？ N=795〕



		大いにそう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=307)	31 10.1%	55 17.9%	119 38.8%	72 23.5%	17 5.5%	13 4.2%	-
	女性(N=431)	46 10.7%	95 22.0%	143 33.2%	80 18.6%	31 7.2%	31 7.2%	5 1.2%
年代別	10歳代(N=17)	3 17.6%	-	5 29.4%	4 23.5%	1 5.9%	4 23.5%	-
	20歳代(N=45)	6 13.3%	7 15.6%	12 26.7%	12 26.7%	3 6.7%	5 11.1%	-
	30歳代(N=103)	5 4.9%	12 11.7%	35 34.0%	31 30.1%	9 8.7%	11 10.7%	-
	40歳代(N=101)	6 5.9%	18 17.8%	40 39.6%	25 24.8%	7 6.9%	5 5.0%	-
	50歳代(N=130)	10 7.7%	25 19.2%	53 40.8%	30 23.1%	5 3.8%	7 5.4%	-
	60歳代(N=151)	14 9.3%	40 26.5%	50 33.1%	27 17.9%	15 9.9%	4 2.6%	1 0.7%
	70歳代(N=162)	22 13.6%	46 28.4%	59 36.4%	22 13.6%	8 4.9%	3 1.9%	2 1.2%
	80歳以上(N=81)	19 23.5%	12 14.8%	29 35.8%	7 8.6%	5 6.2%	7 8.6%	2 2.5%
居住地区別	名瀬(N=589)	54 9.2%	119 20.2%	224 38.0%	117 19.9%	39 6.6%	33 5.6%	3 0.5%
	住用(N=67)	7 10.4%	10 14.9%	25 37.3%	14 20.9%	3 4.5%	7 10.4%	1 1.5%
	笠利(N=132)	24 18.2%	28 21.2%	36 27.3%	27 20.5%	10 7.6%	6 4.5%	1 0.8%

(7) 地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？

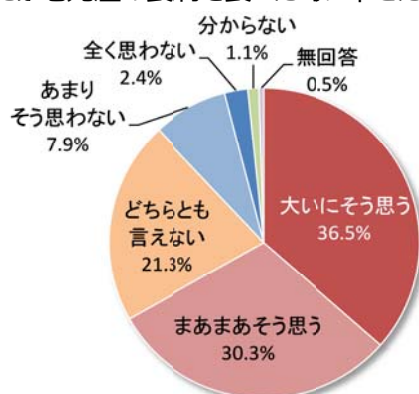
地元産の食材を食べた時に幸せだと思うか（地産地消度）について、「大いにそう思う」が36.5%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は66.8%で6割以上となっている。なお、「どちらとも言えない」は21.3%、「あまりそう思わない」は7.9%、「全く思わない」は2.4%となっている。

これを属性別にみると、性別では、女性は全体と同様に「大いにそう思う」、男性は「まあまあそう思う」がそれぞれ最も多くなっており、『そう思う』は男性が60.9%なのに対し、女性が70.3%と多くなっている。

年代別では、30～40歳代と60歳以上は全体と同様に「大いにそう思う」、10歳代は「大いにそう思う」と「どちらとも言えない」が同率、20歳代と50歳代は「まあまあそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。『そう思う』は70歳以上で7割を超えている一方、10歳代では47.0%と5割を下回っている。

居住地区別では、名瀬と笠利は全体と同様に「大いにそう思う」、住用は「まあまあにそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。笠利は『そう思う』が76.5%で7割以上と他地区に比べ多くなっている。

〔地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？ N=795〕



		大いにそう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=307)	89 29.0%	98 31.9%	75 24.4%	30 9.8%	12 3.9%	2 0.7%	1 0.3%
	女性(N=431)	175 40.6%	128 29.7%	87 20.2%	26 6.0%	6 1.4%	7 1.6%	2 0.5%
年代別	10歳代(N=17)	5 29.4%	3 17.6%	5 29.4%	1 5.9%	2 11.8%	1 5.9%	-
	20歳代(N=45)	14 31.1%	15 33.3%	12 26.7%	1 2.2%	2 4.4%	1 2.2%	-
	30歳代(N=103)	36 35.0%	29 28.2%	23 22.3%	11 10.7%	4 3.9%	-	-
	40歳代(N=101)	31 30.7%	28 27.7%	27 26.7%	14 13.9%	1 1.0%	-	-
	50歳代(N=130)	40 30.8%	47 36.2%	29 22.3%	11 8.5%	1 0.8%	1 0.8%	1 0.8%
	60歳代(N=151)	54 35.8%	50 33.1%	30 19.9%	13 8.6%	4 2.6%	-	-
	70歳代(N=162)	72 44.4%	47 29.0%	32 19.8%	8 4.9%	2 1.2%	-	1 0.6%
	80歳以上(N=81)	37 45.7%	21 25.9%	9 11.1%	4 4.9%	3 3.7%	6 7.4%	1 1.2%
居住地区別	名瀬(N=589)	204 34.6%	188 31.9%	129 21.9%	49 8.3%	13 2.2%	4 0.7%	2 0.3%
	住用(N=67)	13 19.4%	23 34.3%	19 28.4%	5 7.5%	3 4.5%	4 6.0%	-
	笠利(N=132)	71 53.8%	30 22.7%	19 14.4%	8 6.1%	2 1.5%	1 0.8%	1 0.8%

(8) 招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？

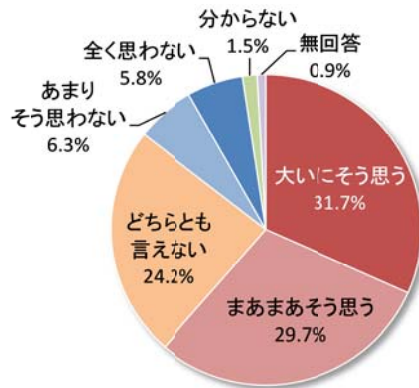
奄美に友人・知人を呼びたいと思うか(招待意向度)について、「大いにそう思う」が31.7%で最も多く、『そう思う(「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計)』は61.4%で6割以上となっている。なお、「どちらとも言えない」は24.2%、「あまりそう思わない」は6.3%、「全く思わない」は5.8%となっている。

これを属性別にみると、性別では、女性は全体と同様に「大いにそう思う」、男性は「まあまあそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

年代別では、10～30歳代と80歳以上は全体と同様に「大いにそう思う」、40歳代は「大いにそう思う」と「どちらとも言えない」、50歳代は「大いにそう思う」と「そう思う」が同率で、60～70歳代は「そう思う」がそれぞれ最も多くなっている。『そう思う』は30歳未満で7割を超えるが、年代が上がるにつれ概ね減少傾向にある。

居住地区別では、名瀬と笠利が全体と同様に「大いにそう思う」が最も多くなっているが、住用は「どちらとも言えない」が44.8%で最も多く、『そう思う』が5割を下回り、他地区と比べ少なくなっている。

〔招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？ N=795〕



		大いにそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=307)	90 29.3%	94 30.6%	77 25.1%	18 5.9%	24 7.8%	3 1.0%	1 0.3%
	女性(N=431)	143 33.2%	124 28.8%	104 24.1%	27 6.3%	19 4.4%	9 2.1%	5 1.2%
年代別	10歳代(N=17)	7 41.2%	6 35.3%	2 11.8%	-	2 11.8%	-	-
	20歳代(N=45)	18 40.0%	16 35.6%	6 13.3%	1 2.2%	3 6.7%	1 2.2%	-
	30歳代(N=103)	40 38.8%	31 30.1%	23 22.3%	5 4.9%	4 3.9%	-	-
	40歳代(N=101)	32 31.7%	26 25.7%	32 31.7%	2 2.0%	9 8.9%	-	-
	50歳代(N=130)	44 33.8%	44 33.8%	27 20.8%	10 7.7%	5 3.8%	-	-
	60歳代(N=151)	43 28.5%	46 30.5%	36 23.8%	17 11.3%	9 6.0%	-	-
	70歳代(N=162)	43 26.5%	48 29.6%	46 28.4%	11 6.8%	7 4.3%	4 2.5%	3 1.9%
	80歳以上(N=81)	25 30.9%	17 21.0%	18 22.2%	4 4.9%	7 8.6%	7 8.6%	3 3.7%
居住地区別	名瀬(N=589)	183 31.1%	182 30.9%	142 24.1%	39 6.6%	32 5.4%	7 1.2%	4 0.7%
	住用(N=67)	16 23.9%	14 20.9%	21 31.3%	6 9.0%	5 7.5%	5 7.5%	-
	笠利(N=132)	53 40.2%	37 28.0%	28 21.2%	4 3.0%	8 6.1%	-	2 1.5%

(9) おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？

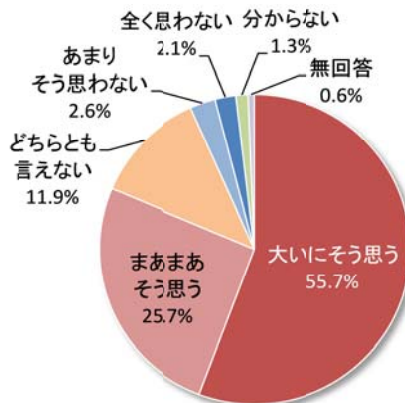
島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいか（おもてなし意向度）について、「大いにそう思う」が 55.7%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は 81.4%で 8 割以上となっている。なお、「どちらとも言えない」は 11.9%、「あまりそう思わない」は 2.6%、「全く思わない」は 2.1%となっている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「大いにそう思う」が最も多く、次いで「大いにそう思う」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、30 歳以上は全体と同様に「大いにそう思う」、10 歳代は「大いにそう思う」と「どちらとも言えない」、20 歳代は「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」が同率で、それぞれ最も多くなっている。10 歳代は『そう思う』が 53.0%で他年代に比べ少なくなっている一方、20 歳代は 93.4%で 9 割を超えている。

居住地区別では、どの地区でも全体と同様に「大いにそう思う」が最も多く、次いで「まあまあそう思う」となっているが、住用は『そう思う』が 67.2%と他地区に比べ少なくなっている。

〔おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？ N=795〕



		大いにそう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=307)	158 51.5%	78 25.4%	49 16.0%	9 2.9%	9 2.9%	4 1.3%	-
	女性(N=431)	247 57.3%	118 27.4%	41 9.5%	11 2.6%	4 0.9%	6 1.4%	4 0.9%
年代別	10歳代(N=17)	7 41.2%	2 11.8%	7 41.2%	-	1 5.9%	-	-
	20歳代(N=45)	21 46.7%	21 46.7%	3 6.7%	-	-	-	-
	30歳代(N=103)	63 61.2%	21 20.4%	16 15.5%	2 1.9%	1 1.0%	-	-
	40歳代(N=101)	54 53.5%	25 24.8%	18 17.8%	3 3.0%	-	1 1.0%	-
	50歳代(N=130)	77 59.2%	35 26.9%	12 9.2%	3 2.3%	1 0.8%	2 1.5%	-
	60歳代(N=151)	79 52.3%	41 27.2%	16 10.6%	6 4.0%	7 4.6%	1 0.7%	1 0.7%
	70歳代(N=162)	92 56.8%	42 25.9%	18 11.1%	3 1.9%	5 3.1%	1 0.6%	1 0.6%
	80歳以上(N=81)	48 59.3%	15 18.5%	5 6.2%	4 4.9%	2 2.5%	5 6.2%	2 2.5%
居住地区別	名瀬(N=589)	331 56.2%	155 26.3%	66 11.2%	18 3.1%	12 2.0%	4 0.7%	3 0.5%
	住用(N=67)	28 41.8%	17 25.4%	15 22.4%	1 1.5%	2 3.0%	4 6.0%	-
	笠利(N=132)	83 62.9%	29 22.0%	14 10.6%	2 1.5%	1 0.8%	2 1.5%	1 0.8%



(10) 永住希望度／あなたは奄美に今後も住みたいですか？

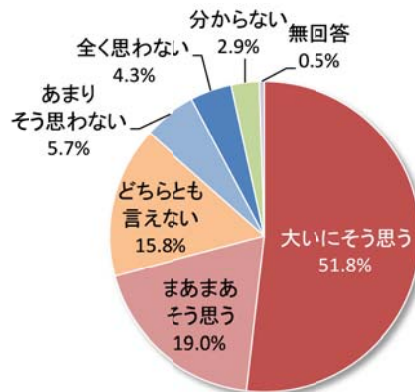
奄美に今後も住みたいか（永住希望度）について、「大いにそう思う」が 51.8%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は 70.8%で 7 割以上となっている。なお、「どちらとも言えない」は 15.8%、「あまりそう思わない」は 5.7%、「全く思わない」は 4.3%となっている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「大いにそう思う」が最も多く、次いで「まあまあそう思う」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、30 歳以上は全体と同様に「大いにそう思う」、10 歳代は「まあまあそう思う」、20 歳代は「どちらとも言えない」がそれぞれ最も多くなっている。20 歳代では『そう思う』が 44.5%で 5 割を下回り、他年代に比べ少なくなっている。『そう思わない』は年代が上がるにつれ概ね減少傾向にある。

居住地区別では、全ての地区で全体と同様に「大いにそう思う」が最も多くなっているが、住用は『そう思う』が 55.2%と他地区に比べ少なくなっている。

〔永住希望度／あなたは奄美に今後も住みたいですか？ N=795〕



		大いにそう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=307)	141 45.9%	68 22.1%	55 17.9%	21 6.8%	14 4.6%	7 2.3%	1 0.3%
	女性(N=431)	237 55.0%	76 17.6%	64 14.8%	21 4.9%	16 3.7%	15 3.5%	2 0.5%
年代別	10歳代(N=17)	4 23.5%	5 29.4%	2 11.8%	2 11.8%	2 11.8%	2 11.8%	-
	20歳代(N=45)	12 26.7%	8 17.8%	14 31.1%	6 13.3%	2 4.4%	3 6.7%	-
	30歳代(N=103)	38 36.9%	29 28.2%	17 16.5%	9 8.7%	7 6.8%	3 2.9%	-
	40歳代(N=101)	35 34.7%	28 27.7%	18 17.8%	8 7.9%	7 6.9%	5 5.0%	-
	50歳代(N=130)	61 46.9%	28 21.5%	29 22.3%	9 6.9%	2 1.5%	1 0.8%	-
	60歳代(N=151)	86 57.0%	28 18.5%	20 13.2%	8 5.3%	6 4.0%	3 2.0%	-
	70歳代(N=162)	118 72.8%	18 11.1%	17 10.5%	3 1.9%	5 3.1%	1 0.6%	-
	80歳以上(N=81)	55 67.9%	7 8.6%	8 9.9%	-	3 3.7%	5 6.2%	3 3.7%
居住地区別	名瀬(N=589)	304 51.6%	117 19.9%	87 14.8%	40 6.8%	24 4.1%	15 2.5%	2 0.3%
	住用(N=67)	25 37.3%	12 17.9%	15 22.4%	3 4.5%	5 7.5%	7 10.4%	-
	笠利(N=132)	81 61.4%	21 15.9%	23 17.4%	2 1.5%	3 2.3%	1 0.8%	1 0.8%

## (11) 各項目の比較

(1) ～ (10) の各項目の比較を見ると以下のとおりとなっている。

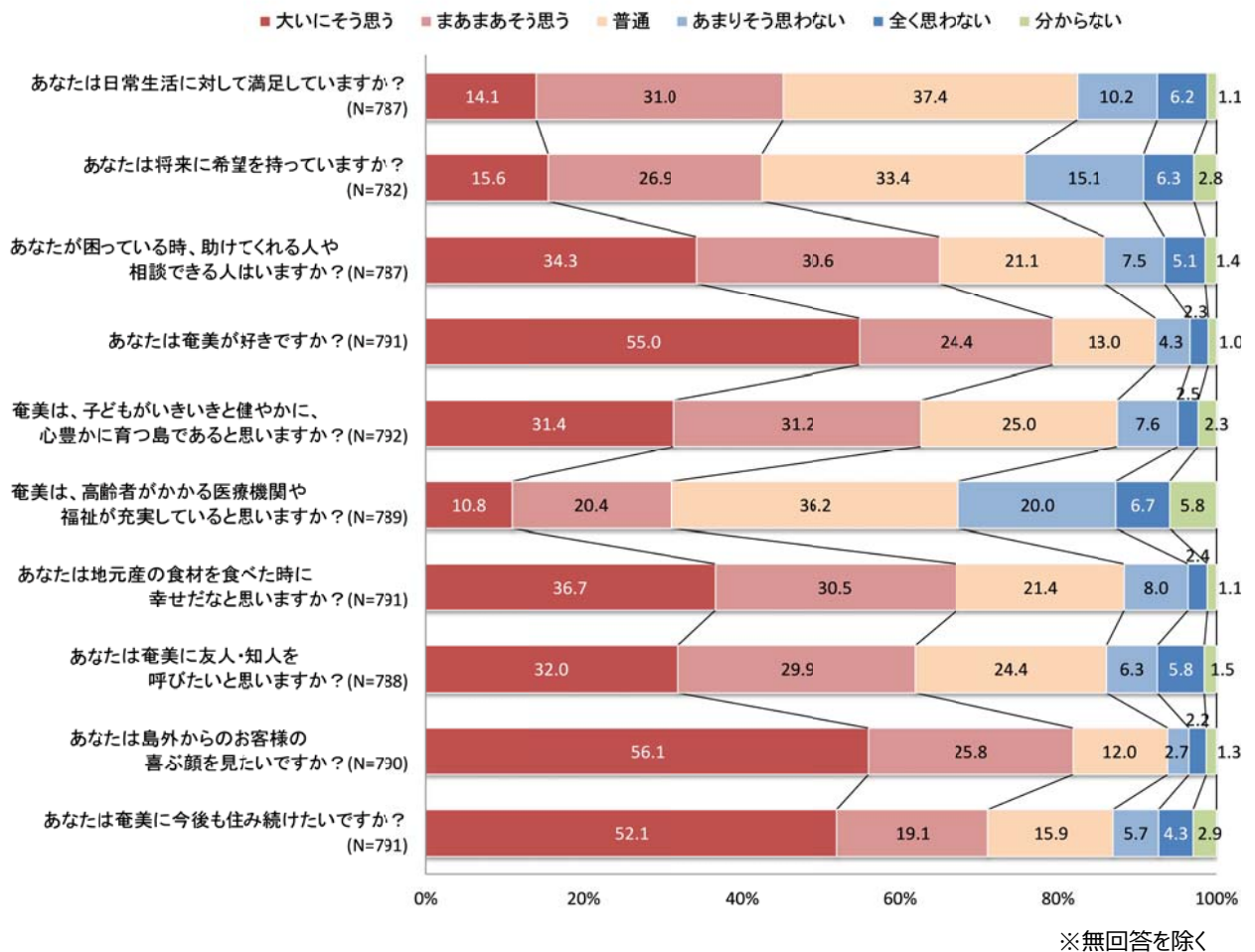
『そう思う』の回答率が高いのは、

- 1 位 「おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？」 (81.9%)
- 2 位 「愛着度／あなたは奄美が好きですか？」 (79.4%)
- 3 位 「永住希望度／あなたは奄美に今後も住みたいですか？」 (71.2%)

一方、『思わない』の回答率が高いのは、

- 1 位 「医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？」 (26.7%)
  - 2 位 「将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？」 (21.4%)
  - 3 位 「生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？」 (16.4%)
- となっている。

〔各項目の比較〕





(12) 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？

日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは、以下のとおりとなっている。

なお、「問2あなたが、日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか」（自由記述）に記載があった全てを原文のまま記載している。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地区	意見
10歳代	男性	名瀬	安全な日々が送れている。
			家族。
		自然が豊かなこと。	
		住用	海・自然など。
	女性	笠利	「幸せ」とは何ですか。
			自然が多く、海がきれいなところ。
			気候が温暖で、海がきれいなところ。
		名瀬	友達と一緒に騒いでいるときや学校に行くときに、時間がゆったりと流れている感じがする。
			星空。
			自然に癒される場所。
笠利	帰省できること。		
	地域の人たちがいつも声をかけてくれること。色んな行事があること。		
	家族とばかなことを言い合うこと。読書しているとき。		
20歳代	男性	名瀬	働いているとき。
			お酒を飲んでいる時。
			海がキレイ。
			美味しい食事ができる時。
			特にあげるものはないが、現状は十分満足している。
			静かな夜を散歩する時。
			食べ物が美味しく、自然が豊か。ゆったりとした時間が流れているため、リラックスできる。高齢の方が生き生きと生活している。
			自分が生まれた島が、世界遺産になるかもしれないこと。
		自然が近くにあること。友人が多いこと。	
		自然が豊かであること。通勤時間が短いこと。	
		人と人との関わり。つながり。	
		雄大な自然の中で暮らせること。	
	住用	祖母から毎日おいしい弁当を作ってもらえることです。	
		自然の豊かさ。	
	笠利	自然を楽しんでいる時。	
		特になし。	
	女性	名瀬	都会にはない周りの方々のフレンドリーな所は住んでいて楽しいですし、気分が楽です。
			特になし。
			豊かな自然に加えて、色んなお店やイベントがあること。若者がチャレンジしやすいところ。
			島の人は優しい方が多い。
			固有の自然、景観、人の優しさ、関西関東とのアクセス。
			外の景色を見たり、買い物をしたり、本を読んだり、ご飯を食べたり、寝たり、おしゃべりしたり、音楽を聴いたり、テレビを見たりしている時です。
			景色の良さ。食べ物の美味しさ。人の温かさ。温暖な気候。海の実しさ。動植物の豊かさ。
			自然豊かな奄美で様々な体験をすることができる。
			健康に日々生活を送れていること。
			観光客が増えるのはとても嬉しいです。海外の観光客にも来てほしい。
			美しい自然に触れたとき。友人と一緒にいるとき。
			特になし。
		自然が豊かで、ゆったりとした時間が過ごせること。人が温かいこと。	
		特になし。	
家族や親族が作ってくれる奄美料理を食べるとき。			
住用		人間性の豊かさ。	
		海や山などの自然がきれいであること。	
笠利		ファミマができて色々便利になったのが満足と感じる。他のセブンイレブンも出してほしい。	
	友人達と会って話をしている時。		
	日々の生活におおむね満足している。		
	自然の中でゆったりと過ごせること。人と人のつながりがしっかりとできている。		
自然が多い。			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
30 歳代	男性	名瀬	大海原を眺めていると、最高な開放感を味わえるところ。
			夏場のじりじりとくる暑さを実感する時。美しい自然を目にして肌に感じる時。
			海がきれいなところ。
			自然が多い。
			自然の美しさ。
			なし。
			釣りをしますが、きれいな海で釣りができることに幸せを感じる。
			家族で過ごしているとき。
			他の離島よりは都会である。
			家族と一緒に笑っているとき。
			トラブルなく普通に一日過ごせる時。
			家族みんなで笑って暮らしていける事。
			子どもの成長を感じられるとき。家族が健康でいること。
			仕事があること。
			健康で、日々同じペースで暮せていること。
			海があること。
			人との交流がもてること。
			家族が元気で過ごせたり、笑顔でいること。
		集落活動をするとき。子どもと自然体験をするとき。	
		魚がよく釣れる。	
		大自然に囲まれて、心豊かに生活できること。	
	住用	自分のふるさどで子育てできること。	
	豊富な自然が近くにあること。		
	笠利	仕事と日常生活に充実している。レジャーも楽しい。	
		家族と過ごしている時。	
	女性	名瀬	知人でなくても親切に接してくださること。
			家族と過ごしている時や子どもと話している時。
			優しい人が多いこと。
			子どもの成長を感じられること。風俗が無いこと。家族と食卓を囲み、笑い合えること。綺麗な海を見たときや温暖な気候であるところ。
			奄美の行事やイベントを楽しんでいること。ここでしかできないもの(鳥唄、八月踊り、豊かな自然で遊ぶ)がたくさんある。
			知らない人でも気さくに声をかけてくれる。
			家族や友人との時間(一緒に過ごしたり、友人宅で話したり遊んだり)。
			周りの方々が温かいこと。
			家族も自分も健康で仲良く暮らしている。
			子どもが健やかに育つこと。子どもの病院代が返ってくること。
			海が見える風景、波の音、鳥の鳴き声など自然を常に感じることができること。
			子どもの笑顔。
			家族が近くにいる事。
			子どもに対して声かけや見てくれる人が多い。
			笑顔で家族と過ごすこと。仕事を頑張って成功したとき。
			自然。
			安心して子育てできること。
			人とのつながり。
			子どもがいて子どもの成長をそばで見れること。
			家族で過ごしているとき。子どもと遊ぶとき。
			食品が低価格で手に入ること。子どもの保護者同士で話ができること。子どもの医療施設(のぞみ園)に通わせることが出来、発達が進んだこと。
			子どもがちゃんと挨拶してくれること。子どもがのびのび育つところ。自然が素晴らしい事。人が温かい事。食べ物、果物がおいしい事。
自分の周りにいる人がみんなステキな人。			
集落の年配者が子どもに声をかけてくれる。都会にはない交流があり I ターンだろうが孤独を感じない。豊かな自然がありのまま残っている。			
ゆったり過ごせること。			
仕事ができること。			
景色がいいところ。			
家族と過ごしている時に幸せを感じる。皆が健康でいる事が 1 番だと思う。			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
30歳代	女性	名瀬	家族全員で奄美大島に引っ越ししてきて生活出来ていること。(かつて仕事の都合上、別居の期間があったため)
			家族とゆっくり休日を過ごせること。アウトドアを楽しめること。
			自然が豊かなところ。歴史や文化を大切にしているところ。
			子どもたちが幸せになること。
			趣味が充実しているとき。美味しい食べ物を食べたとき。
			自然が多く、海がきれいなところ。結いの精神を感じる時。近所の方と交流がもてること。東京に住んでいる時には全くなかった。
			子どもの笑顔に出会えたとき。
			移住してきて、地元の人が奄美に興味を持ってくれたこと。
			子どもの成長を感じた時。
			自分のペースで生活が出来、笑顔が絶えないこと。
			豊かな自然とおいしい地元食材があるのは幸せ。
			子ども達が自然の中、地域の人たちの中でのびのびと生活していること。
			家族と一緒に食事をしたり、まったり過ごしている時。
			自然が豊かであること。食べ物が美味しいこと。
			結婚して子どもができたこと。
	気候が暖かい。		
	自然が身近にあること。希少生物が見られること。		
	子どもたちの笑顔。		
	女性	住用	島の自然の美しさ。島の美味しい食べ物。
			兄弟それぞれ家庭を持って島へ戻り(家族で)家族みんなが近くにいれる事。子どもたちの成長を身近でみんなで見守れる事。
			人との関わり。
家族が健康であること。			
笑顔で休みの日を過ごせること。			
不自由なく暮らせていること。			
女性	笠利	のんびりとした日を過ごせたとき。	
		誰もが子どもに対して優しい。ちゃんと自炊をすれば、出費も少なくて済むところ。地産のものが美味しいし、販売者が調理法を教えてくれるので、ありがたいです。	
		-	
		家族でいること。	
		-	
-	-	名瀬	家族が健康、笑顔でいられるだけで幸せです。
40歳代	男性	名瀬	豊かな自然と島時間。
			地域の人々とのつながりが持てているところ。
			仕事があること。
			奄美の環境に生かされています。感謝の念で一杯です。
			飲酒の時。
			家族で釣りをしている時。
			健康と子ども達の笑顔。
			自然がいい。人が親切。
			自然が残っていること。
			今は自由にしていること。いつでも海に行ける。奄美大島という所に来て多くの人に出会った。
			私は毎日元気です。一日一日を大切に生きて楽しいです。これからもよろしく願います。満足です。
			季節感、自然豊かなところ。
			自然の景色がきれい。
			人や自然が優しい。
			家族との生活。友人知人といい距離感を保てていること。
			家族や同僚の笑顔が見られること。
			家族がいること。
			健康であり、日々仕事ができること。
	子どもたちや家族と生活できること。		
	自然豊かななかで生活できること。		
	家族が健康で、衣食住に恵まれた生活が出来ていること。		
	男性	住用	自然豊かなところ。鳥の鳴き声で目が覚める時や海の水平線を眺める時。人と会って笑顔で声をかけてもらう時。
			大自然の中で、気持ちの良い生活が送れていること。
			自然が豊かであること。食べ物が美味しいこと。
			特になし。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
40歳代	男性	笠利	景色がきれいで、温暖な気候であること。のんびり過ごせること。仕事が忙しくなく、仕事にとられる時間が少ないこと。ネット通販で欲しいものが手に入ること。
			五体満足に生活できている事。
			自然豊かな環境。集落での年間行事。
			子ども達がのびのびと健やかに育っていること。
			自然のすばらしさ。人とのつながり。
	女性	名瀬	子どもと接しているとき。
			子ども達が人懐っこく挨拶が素晴らしいこと。自然豊かで温暖な気候なので過ごしやすい。大人の人たちも気さくで優しいので、観光客の方々は喜ぶと思う。
			天気がいい日にすぐ海へ行けること。
			奄美ではあまりお金を使うこともないので、金銭面では不安がなく幸せです。
			子どもの笑顔が見れるとき。公共施設や病院、買い物、レジャーなどどこへ行くにも近場にあるところ。
			島外へ出て行った子ども達と会って、家族が揃ったときに幸せだと感じました。
			衣食住がある事。
			自然の中で幸せ。
			程よい都会感と大自然に囲まれて生活できていること。家族、友人とのコミュニケーションを図りやすい環境。
			人々が優しく、特に子どもには声をかけてくれて温かい気持ちになる。気候が温暖で過ごしやすい。
			自然。田舎の風情。人々の気さくな人柄。海の美しさ。
			なし。
			好きなことがきいていること。
			子どもの成長。家族の健康。
			人どうしのつながりが深い。
			夫が無事に帰って来ること。たあいもない会話。
			夫と子ども(複数人)に囲まれ、十分な衣食住がある。仕事も続けさせてもらっている。
			自然。
			暖かい。
			両親がいることで、子育てしやすい環境にあること。
			近くに身内がいて家や子どものことを助けてもらえること。
			治安がいいところ。
			自然と人のつながりがあるところ。
			子どもたちが元気に登校し、地域のご老人たちがグランドゴルフをしていること。
			子どもの成長を見る時。体調が良く元気な時。
			コンビニが充実していること。
			仕事が休みで、家でゆっくり掃除をしたり読書をしながら過ごすとき。
			特になし。
			奄美に友人が多いこと。
			結婚8年目になりますが、いつも変わらず優しい主人が近くにいること。
			子どもの成長を感じられるとき。友人や家族と美味しいものを食べたとき。
			自然が多くて癒される。人々が温かいところ。
			ゆったりした気持ちでいられるとき。
			あまり不満もなく、毎日が過ごせること。
			海がきれい。自然が美しい。
			自然が豊か。
			家族がいること。
衣・食・住、不安なく過ごせること。			
住用	仕事がうまくいったとき。		
	猫とのふれあい。楽しい会話。		
	家族と一緒に食事をしているとき。だから、何とか住んでいる。		
笠利	家族が健康で、日々充実していること。		
	なし。		
	毎日楽しいです。		
	都会に比べ、保育園に入りやすかったこと。ラッシュの電車、残業など、仕事のストレスが少ないこと。		
	人のつながりが豊かなこと。		
名瀬	家族が元気である事。仕事がある事。		
	地域の人が温かく、子育てがしやすいこと。美味しく食事がとれて、ぐっすり眠れること。		
	グラウンドゴルフをするのが幸せです。		
-	名瀬	良くわからない。	
		家族が健康で元気に生活していること。	

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
50歳代	男性	名瀬	自然豊かであること。
			運動後の食事。
			家族との時間が持てる時。自然があること。
			自身に問題がおきたときに相談出来る人がいる事。
			気候が暖かい。すぐ海を見に行ける。山に行ける。全国の人が行きたいと思っている奄美に住めている。
			自然も沢山残っているし、地域でも助け合い(結)の精神もあるので満足である。
			美しい海、山。また趣味の釣りができる事。美味しい魚が食べられる事です。
			人が良い。
			兄弟、友人が相談にのってくれる。生まれ育った場所だから。
			特に不自由なく生活が送れる事。
			この自然豊かな奄美で、何不自由なく生活できる事。
			マイホームがある。近くになんでもある。
			夫婦仲。
			夫婦仲がいい。健康。
			暖かいこと。
			毎日健康にジョギングしているとき。
			子どもとの交流をしているとき。
			日々の生活。食事を作ったりすること。
			自然が多い。
			子どもの寝顔を見た時。将来の目標に向けて努力する時間が持っている時。
			何気ない自然が、外部からの評判で素晴らしい事と認識した時。
			人からありがとうと言われた時。
			友人と集まっている時。
			家族親戚友人との集まりに幸せを感じる。
	温暖な気候。		
	家族と一緒に過ごせる時。		
	子どもたちの声が聞けること。島唄。		
	特になし。		
	子どもの成長を感じられるとき。		
	まとまった休暇があること。		
	きれいな海や自然に囲まれていること。		
	住みやすい島。食文化等自然のものを活かしたい。		
	心優しい人々の存在とゆったり過ごせる時間。		
	自然がいっぱい。		
	満足はありません。奄美には大きな企業が一つありません。自衛隊作るよりも大きな企業を呼んだほうが若い人達にあると思います。上に立つ人は本土に人脈のある人でなければいけないと思います。		
	子や孫が近くに住んでいて、よく会えること。		
特になし。			
女性	名瀬	独りで歩けること。仕事があること。	
		1日が無事終わって眠りにつくとき。	
		きれいな海を見ると、心が満たされ幸せになります。両親や妹家族が幸せだと私もうれしいです。	
		家族が健康であることに幸せを感じ満足しています。	
		地域に恵まれていて、日々楽しく過ごしています。伝統行事などのイベントは最高です。	
		自然が美しい。(海、海岸)	
		家族といること。	
		家族が健康であること。	
		自然。人とのつながり。	
		島人だから出来る温かさ、優しさ。	
		主人、子ども、孫達と楽しく過ごす時。	
		地域の方に助けてもらい子育てをした。感謝。	
人情があり、ギスギス感がない。			
家族がいること。			
伝統文化、地域住民の行事が盛んなこと。大自然が近くに感じられること。奄美の親しみある(結の心)対応。			
充実した生活。			
自然が多い。癒される物が多い。人の優しさ。			
元気に高齢者をサポートする仕事についていること。			
毎日が笑顔で過ごせること。			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見	
50 歳代	女性	名瀬	小さな幸せを感じるが、親が元気であること。子ども達がそれぞれ頑張っていること。健康で仕事が続けられて、家庭が穏やかであること。	
			家族が健康で日々の生活で笑顔が見れる時。	
			昔ながらの知人友人がたくさんいることでつながりができる。	
			都会の生活よりもぎすぎすしていないところ。人間関係がフレンドリーなところ。温かいところ。気さくな言葉かけ。	
			健康であることが幸せだと感じる。	
			家族と過ごしている時。	
			家族とともに過ごす時間があること。	
			健康に生活出来ていること。	
			人が親切なところ。自然豊かで癒されること。	
			自然が美しいこと。	
			健康で、好きなものを買ったり食べたりして自由に毎日を過ごしていること。	
			子どもが成長して島外で働いていること。時間が持てるようになり気楽なこと。	
			なんとか普通に生活出来ていること。	
			家族が健康であること。	
			家族と一緒にいられるとき。	
			みんなが健康で過ごせること。	
			子どもや孫と笑って過ごせること。	
			子育て中と3人の親の介護中は、生活が苦しく節約していたが、現在は市の生涯学習にも参加でき収入も安定してきている。	
			家族や友人と島内ドライブをしたり、散歩、食事などをすること。	
			日々健康に生活や仕事ができる事。	
		両親や家族が元気なこと。旅行に行けること。		
		島唄がまだあちこちで聞けること。		
		なんとか平穏に生活できていること。		
		兄弟姉妹が奄美に住んでおり、会いたいときにいつでも会えること。		
		家族が健康であること。		
		夫子どもが健康であること。		
		子どもの成長。		
		住用	幸せと思うこと→心身共に健康で仕事ができた時。家族、友人が幸せを感じている時など。努力が成果として評価された時。	
			一日自分の家でゆっくり出来る日。	
			健康で仕事ができる事。	
			笠利	自然が豊かであること。食べ物が美味しいこと。
				自然があり、子ども達もすくすくと育ち、人と人とのつながりもあり生活しやすい。
				健康で関われる社会があること。
				持ち家がある。子どもが独立している。孫がいる。仕事がある。
				あまり感じることはない。
				人柄と地域の雰囲気が好き。のんびりで心安らぐ。自然が好きです。
				人々が優しい。
		笑顔になれること。また、周りの人々の笑顔を見れること。		
		子育てに良い。		
		自分たちで植えた野菜(無農薬)を安心して食事できる。自然がいっぱいある。		
		気候が温暖で自然豊かなこと。		
		子どもが増えること。仕事があること。		
		仕事や家庭が充実していて心配なことがなく、みんなが笑っていられること。		
		家族との団らん。		
		健康で体を動かし、仕事ができること。		
-	名瀬	何気ない日常生活。		
		ほどよい距離間で人との交流ができる。		
		自然が豊か。		
		人の優しさや思いやりを感じた時、自然の美しさを感じた時。		
		奄美の気候。人柄。福祉政策。		
		海山がきれい。		
		花粉症が治まったこと。		
自然や人。				



〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
60歳代	男性	名瀬	なし。
			ご近所付き合いがいいところ。人間性の良い人が多いところ。
			自然と向き合ったレジャーができること。
			何も変わらないからです。
			特になし。
			満足、妻と一緒に老後を暮らすこと。幸せ、孫と一緒に遊ぶこと。
			ある程度の町(名瀬)で有りながら周りに自然が多く残っている事が満足。
			健康保険などによる健全な福祉を受けられる社会生活。
			奄美で育った人間として、若い頃と比較して、経験を積んだが故にこの土地を大いに誇りに思う。
			忙しいこと。
			晩酌しながらテレビを見ている時。
			普通(良くもなく悪くもない)
			時間がゆっくりしている。
			自然を満喫でき今ここで生きている時幸せとともに満足感を覚える。
			不幸、不満がないこと。
			周りに家族や友人がいてにぎやかに楽しく過ごせる時。
			ナシ。
			活動できる場があること。
			タラソでジャグジーにつかっているとき。
			病院に行かないこと。
			家族が健康であること。
			人情豊かな人々がいること。温暖な気候や豊かな自然が感じられること。
			自然との触れ合い。子どもが帰省してくること。友人との飲み会。
			自然が豊かであること。
			家族と暮らしていること。
			何もない。
			日々健康に生活できること。
			自分で育てた野菜、果物を食し、残ったものは加工して捨てることなくいただけること。
	孫や子どもがそばにいてくれるとき。仕事が順調にいつているとき。子どもたちと旅行しているとき。		
	自然がまだ美しく残っていること。		
	良き隣人に恵まれている。		
	住用	感謝の言葉を受けた時に役立つ良かったと感じる。	
		子ども達が島に住んでいること。	
		ゆっくり過ごせる事。	
		家の周りは、海、山、又耕す畑があり、大変満足しています。	
		自然、人間性、心。	
		地元子どもが住んでいること。	
		健康で仕事ができること。友と語れる事。	
	笠利	自然(海、山、人)がすばらしい。	
		家族。	
		自然が豊かであること。	
		健康であること。	
		子どもの生活や孫の成長。	
	特になし。		
	女性	名瀬	家族、子孫が皆健康で過ごせていることが「幸せ」なことだと思います。パニラエアの運航も有難いです。
			自然豊かなところ。
			素朴な自然が残っていること。
家族が健康で過ごせること。			
友人とおしゃべりをしているとき。			
自分なりに生きていけること。			
自分の兄弟、子、孫、そして周りが幸せであるとき。			
子ども、孫達と一緒に遊ぶこと。			
子や孫が近くにいると老後の楽しみが増えた。			
毎日が穏やかに過ごせること。			
自然に囲まれた島に満足しています。			
娘や孫が近くに住んでおり、それぞれ健康に生まれ生活が安定していること。			
姉妹が近くにいると子どもも近くにいるので、喜びも悲しみも分かち合えるのでその点は幸せです。			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
60歳代	女性	名瀬	親兄弟が仲良く日々暮らせてる事。仕事もあり友人達とお茶できる事。
			健康で(自分や家族が)子どものことで不安や心配もなく楽しく生き生きと生活している様子を見たり聞いたりすること。
			島の人は優しい。
			健康であること。
			40年ぶりに島に帰ってきて、都会と違いまだ優しい人間関係があることと自然がそのまま残っていることに心を癒されます。
			健康で平々凡々と暮らせていることが幸せです。
			孫達と遊んでいる時。
			おいしいものを食べた時。おもしろいテレビをみた時。
			島は寒い時も多少はあるが、暖かい日が多いので北海道や東北の方から見ると幸せだと思う。
			健康第一で家族が元気に過ごせることが幸せです。
			住みやすいことですかね。
			人並の生活が出来ていること。
			子ども孫がいること。
			高齢の母が介護の支援を受けることが可能になったこと。自分自身は定年退職後も公的な仕事に携わったり、学びたい講座を受講していること。
			主人と2人健康で畑仕事をし、6人の孫に恵まれ楽しい日々を過ごせていること。
			気候が暖かいところ。生活していくのに便利なお店。
			毎日同じ日常を過ごせること。
			まあまあ健康であること。
			気候がいいところ。
			町の中心に役所、銀行、郵便局、店があつて便利なお店。海や砂浜がきれいなこと。
		近くに孫が住んでいること。	
		自然の山を眺めたり、綺麗な空気をいっぱい吸えること。	
		家族が元気であること。	
		子どもや孫の成長と健康。	
		結いの精神があること。	
		何も無い日常に毎日感謝をしています。	
		穏やかな生活。	
		自分の時間が持てること。	
		この年齢でも仕事があり、働けること。	
		健康であること。	
		特になし。	
		普通に衣食住に困る事なく、生活できていること。	
		友人、知人に恵まれていること。穏やかに生活できること。	
		1日1日を大切に過ごしているので、考えたことはありません。	
		大自然に恵まれていること。人の温かさを感じられること。	
		子どもたちが良くしてくれること。	
		海に行つて、サンゴや亀、魚をみたとき。この自然のなかにいられること。	
		子どもや孫が近くにいること。多くの友人がいること。穏やかで豊かな自然があり、伝統文化が継承されていること。	
		きれいな海を見て寝る事です。	
		のんびりしている。冬に雪が降らない。子どもや孫が近くにいる。今は健康である。	
御本尊を拜むと幸せを感じる。			
島に孫がいて、孫と遊ぶこと。また、孫の成長が見れること。			
雨つゆしのげる住居があり、日に三度の食事と生活ができること。			
のんびりできる。			
健康な日々。			
孫の喜ぶ顔を見たとき。			
毎日楽しく生活できること。			
		住用	



〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
60歳代	女性	笠利	人の優しさを感じられるところ。
			友達や地域の方々と笑顔で接する時。
			健康で人並の生活が営めていること。
			農作業などで自分で作って収穫したのを食べれる時。奄美でしか飲まれないミキとか作れる幸せ。
			息子が島にひきあげてきた事。
			海を眺めるとき。
			一人で高齢の親の介護ができる所に幸せを感じます。
			家族が集まるとき幸せを感じる。
			海、山、人、奄美の自然の豊さ。時間の流れ。子どもから大人まで各集落の集い。
			海や山をいつでも毎日見ることが出来ること。
	休日に友人達とお茶会。		
	ゆったりと一日を過ごせ、質素な生活でもどうにかやっていける。		
	-	名瀬	環境。
			健康が第一で病気をしないことが幸せに思う。
			自然が美しいこと。
			いつでも孫に会えること。
			子どもや孫が健康で思いやりがあること。自分も健康で動けること。姉妹弟と仲がよく、ご近所トラブルもないこと。
			冬があまり寒くないこと。
			奄美の動植物。家業で古くから多くの人々(全国から)お付き合いがあり、教授や学生さんたちとのふれあいが特に幸せを感じます。
ある程度の食材が自給自足できること。			
健康であること。			
70歳代	男性	名瀬	方言で唄う「八月踊り唄」が歌えるようになり、文化継承に少し貢献できること。
			親族が近くにること。お墓が地元にあること。
			地域行事あるいは、奄美の伝統文化にふれる事。
			家族が大病なく日々仕事に精を出すことができ、毎日の健康に感謝しています。
			子ども、孫が健康であること(病気なし)。温暖な気候。人情豊かさ。自然豊富。趣味。
			ない。
			まあまあ満足。
			親子三代と一緒に暮らすことに幸せを感じる。
			気候が温暖で暮しやすい。海山川が身近にある。生物が豊富で種類多い。
			住む環境がよい。医療環境が身近にあり安心。急病人が出たときすぐ救急車が使用できる。
	気候が良い。環境が良い。		
	子どもたちの元気な姿に接し、その将来を思い応援する気持ちになるとき。(幸せな将来を願って)		
	まあまあです。		
	子や孫、親しい友人が近くにいる喜び悲しみをわかちあえること。		
	豊かな自然の中で生活できること。		
	施設に入っているが、みんなが良くしてくれるので何も不満もないですよ。足が悪いからここにいるしかないからね。		
	健康で毎日笑って暮らしていること。		
	健康で過ごせたり、周りに話せる人がたくさんいること。		
	特になし。		
	自然が多くあり、そこそこ住みやすいと感じる。		
人の優しさ、思いやりがあること。			
空気と水がいい。日本国では一番いいです。			
自然が豊かで良いと思う。			
住用	豊かな自然に囲まれているところ。		
	気候温暖。自然が豊か。		
	日常生活ができること。		
	自然が多いこと。		
笠利	住みやすい島と思います。		
	健康で夫婦仲良く暮らしていけること。		
	国際的にみても現在は激動の時代だが、民族は自立へと平和へと向かっていること。		
			年金があること。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
70歳代	女性	名瀬	友人、知人との交流が出来て、静かに生活が送れる島であること。
			町内会の老人会が毎週(月4回)あり、出席できること。また、町内会のカラオケ会など不自由な体でも楽しく過ごせること。
			独り暮らしをしてから、周りの人達にお世話になっており幸せです。とても思いやりのある町内に住めることを感謝しています。
			家族が仲良く日々の暮らしを継続できることに、幸せを感じております。
			私は奄美出身者ではありませんが、健康でまだまだ働けることや家族にも恵まれていること。豊かな自然があること。
			健康であること。
			空気、自然、のんびりしているところが幸せだと感じます。
			山の幸や海の幸の食材が豊かであるところ。高齢者はグランドゴルフで健康づくりをしており、また地域で健康教室もあるので満足です。
			趣味で踊っていること。
			友人とGG。おけいこ事、食事をする時は楽しい。
			一日一日無事に過ごせたこと。
			友人、知人が近くにいること。
			自然豊かで治安がいいこと。気候がいいことが一番。人情豊かな島である事。
			近所つきあいがとても良いので幸せだと思う。
			生活する時、銀行、病院、交通(船、飛行機)と近く便利である。
			夫私姉の三人毎日楽しく過ごしています。
			孫の成長。
			欲しい物。何でも食べたい、着たい。お風呂湯舟に入れた時。子どもからの電話。知人からの電話。
			高齢となり、日常のお買い物が歩いて行ける所にあります。
			年金だけでは生活できませんが、70歳を過ぎてもパートですが働かせて頂いて幸せだと思っています。
			子どもが近所にいることで安心。
			70歳現在、仕事のできる事に感謝です。
			空気が良く、住みやすいところ。
			住居が市内なのは便利です。
			私は奄美に生まれ奄美で育ったため、子、孫、友人と共に自然を大切に生きていく。
			友人との交流。
			現在まで私にかかわって下さった多くの方々に感謝です。(幸せは人それぞれですから)
			健康でさえあれば、現高齢者は昔に比べ、年金など福祉面である程度保障されていると思う。
			一人で暮らしておりますが、楽しくやっています。
			人が親切であること。
			ない。
			病院や介護施設が充実しているほうだと思う。冬に暖かい。空気が澄んでいる。都会のようにラッシュが無くどこでも歩ける。
			健康であることが幸せ。
			家族や弟妹が健康で頑張っていることが幸せだと思います。
好きな事を日々出来ていることが幸せです。			
つつまじやかな生活をすれば安心して生きられるところ。自由に思いのままに時間が使えること。			
自然が素晴らしいこと。空気が綺麗なので、食べ物が美味しいこと。			
体内時計が狂わないように、雨風の日も毎日60分ウォーキングをしたりと規則正しい生活が出来ていること。			
自家製の農作物(みかん、野菜、らっきょう、パンシロウ)が食べられること。			
都会に住む子ども、孫が帰ってきたとき。			
車いすでの生活ですが、自分の好きなこと(読書、草花栽培、テレビ)を楽しめること。			
海がきれいなこと。			
落ち着くところ。			
住みやすい気候であること。人間関係がいいこと。			
豊かな自然の環境のなかで趣味を持ち、地域や友人達と生活できること。			
山野海をいつでも見られること。家族が元気であること。人と挨拶や方言で会話出来ること。			
友人に恵まれていること。			
ゆったりとした生活がとてもいいです。			
気候が温暖で暮らしやすいこと。冬でも野菜や花などの栽培ができる。			
来た時は言葉もわからなくて、大変なところに来たと思いましたが、今は人の親切、景観はいいし、空気もきれいでとても良いところ。			
気候が暖かいので日々の生活が楽しい。			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
70歳代	女性	住用	家族が元気で暮らして笑顔が絶えない。みんなが私を大事にしてくれる日々が幸せを感じます。
			お互いの声掛け。集落の老人クラブが充実していること。
			自然が豊かであること。
			お茶したり、スポーツ(グランドゴルフ)出来ることです。
			子や孫の元気な声を聞き、笑顔を見ること。健康でいられること。
			孫たち子どもたちがお盆やお正月などに帰ってきてくれること。
		笠利	健康であること。
			のんびり、ゆったり。
			高齢者の遊び場スポットを兼ねた所が多くあり、友人達との交流も多く認知症予防にもなっていると思われる。
			犯罪が皆無で人情が厚く、結いの心があって、自然が一杯で気候が温暖で素晴らしい。
			平和でのどかなこと。
			テレビ観戦(スポーツ等)。野菜、草花作りの一時に幸せを感じる。
			心豊かな人がたくさんいる。自然がいっぱいあること。
			健康で畑いじり花いじりが出来る事。月2回の同級生とのグランドゴルフ、集落の行事参加。
			病院の送迎バスがあること。
			健康に生活出来ること。
			近くに子どもが住んでいること。家族がみんな健康であること。
			夫婦仲が良く、健康で生活出来ること。
	何かあったときに娘たちが駆けつけてくれること。		
	子どもや孫達と楽しく過ごせること。		
	名瀬	今日も元気に起床した。よし今日一日頑張るぞと出発。	
		自然豊かであり、温暖な気候で、又結いの精神はまだまだ残っており、年を重ねても移動手段もある程度はバスでできることです。	
		健康であること。	
		家族に囲まれて生活できていること。	
		健康。	
		自然がいっぱい。	
		住用	人との思いやり。人の喜びの顔。
笠利			温暖な気候に恵まれ、無農薬で自作で育った旬の野菜が食べられること。旬のバナナ、ミカン等。高齢者でも講座受講でき大変ありがたいです。医療施設(徳洲会病院)のお陰で安心して暮らせます。太陽ヶ丘運動施設立派です。恒例の8月踊りは孫子ども達に帰ってきてほしいと何時も思いますよ。
			豊かな自然。温暖な気候。
	自然と気候がいいところ。		
年中行事、各種イベントへ参加できること。			
80歳以上	男性	名瀬	海山空と自然が素晴らしいこと。
			気候的に恵まれ健康に過ごせていること。都会に比べて安全運転の方が多いいこと。
			自然に恵まれていること。
			健康であること。
			人情味のあるところ。
			93歳まで夫婦仲良く生活していること。
			なし。
			お金が入った時。
			豊かな自然に囲まれて生活している。
			足が不自由なので、子どもたちが帰省する時、通院や買い物、ドライブで充実する時。
			自然環境が良い。豊かな自然の中で生まれ育ったことを誇りに思う。
			毎日がのんびりと暮らせる。
			気候がいい。
			花を育てたり見たりすることが好きです。
			自然に恵まれており、大災害の心配がないので幸せです。
		施設にお世話になっていること。	
		特になし。	
		家族が元気であること。	
		退屈しのぎに畑仕事ができること。	
		美しい海と生き物がいるところ。	
		住用	自由な時間。
	笠利		人間関係が非常にいいこと。
			自然(気候が温暖で過ごしやすい)満足しています。
			家族仲良く暮らしていること。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
80歳以上	女性	名瀬	島外に住む子どもが親を思ってくれるところ。
			家族がいて、自然に恵まれていること。
			この地に住んで60年余り、隣近所、兄弟、親戚以上のお付き合い。明るい毎日感謝している。
			一人暮らしだが、介護の方々に守られて日々を過ごせる事です。
			友人からのいただき物もらった時。
			タクシーを呼んだらすぐ来てくれる。子どもが身近にいること。
			2人の息子夫婦が仲が良いので幸せに思う。
			カラオケ。子、孫に会うこと。
			暖かくて住みやすい。
			元気になること。
			水がおいしい。畑が好き。
			健康で、自分がやりたいと思うことができること。
			元気な笑顔。
			孫の成長を見ること。
			年齢にしては健康なこと。
	小学生から挨拶をもらえるとき。		
	安定した生活ができていくこと。		
	健康で毎日過ごせることが幸せに思います。		
		住用	子どもに自宅で介護されている事。
		笠利	まだ健康で、子どもと一緒に農業をやって楽しい毎日をすごしています。
	友達と週2のデイケアに行くこと。		
	農業をしているとき。		
		集落の年間伝統行事に参加し、隣の方々、身内の助けがいつまでも受けられる。	
	-	名瀬	家族みんなが素直で正直で真面目であること。
		住用	平和で豊かなこと。
	-	住用	なんでも話し合える人がいること。
		笠利	皆と楽しくお話ができること。
		笠利	とても幸せです。
			自然環境豊かな中で生活できること。
-	男性	名瀬	人々が親切。
	-	-	今のところ健康ですので幸せです。

(13) 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？

日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは、以下のとおりとなっている。

なお、「問2 あなたが、日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか」（自由記述）に記載があった全てを原文のまま記載している。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地区	意見
10 歳代	男性	名瀬	学費以外にも、進学に費用が必要なので、奄美出身者、将来奄美で働く人への無利子、給付型奨学金を充実させてほしい。
			ショッピングモールがない。
		医療機関が充実していないこと。	
		住用	子どもが楽しむミュージアムとか無いから。
	女性	名瀬	特に無い。
			高齢者が多くますます人口が減少していくため、将来の就職先がないこと。
		交通がなく運賃も高かったり、お店がないなど色々不便なところ。	
		笠利	なし。
20 歳代	男性	名瀬	遊ぶ場所が少ないし、毎日楽しくなく退屈なところ。
			会いたくない人と会った時。
			運転が雑な人が多い。
			収入が少ない事。
			文句を言われるのは嫌。
			交通の手段が少ない(バスの本数)。
			娯楽や仕事が少ないこと。
			税負担が公平でない点。物価が高い。サービス業が殿様商売的な面があるので、島外から来た人は満足しないかもしれない。排他的な面、子どもに対して放任主義すぎる面(叱らなかつたり、悪いことは見て見ぬふりをする)が見られる。
	一般家庭は申請なしで医療費を振り込んでもらえるのに、ひとり親はその都度申請をしないとけないので手間。		
	住用	仕事をする場所が少なく、給料も少ないこと。	
		賃金は低いのに、物価が高いこと。	
		島外への交通アクセス。医療福祉。	
		若者が集まる(遊べる)場所が少ないこと。	
	女性	名瀬	夜にお店がない。
			早く全集落に光回線を通してほしい。
			田舎に行けば行くほど若者が少ない。当然店もないので買い物などが大変。
特になし。			
女性	名瀬	他の離島に比べると恵まれていると思うが、医療や教育に関する選択肢が限られること。	
		交通機関が不足している。	
		特に雨天時の娯楽が少ない。接客サービス。交通マナー。	
		悩みを相談できる相手がいないこと。	
		路駐の多さ。接客の悪さ。不審者の多さ。親の子への関心の低さ。教育設備が整っていないこと。	
		台風の時などには、野菜、食料品が品薄になる。物価(食料品)が高い。	
		給料が安い。	
		飛行機の時間帯を見直してほしい。帰りが遅い時間だったり朝も早すぎる。特に、奄美～福岡。	
島外へ出る際の交通の利便性。			
住用	住宅が狭く少ないこと。障害者用施設が少ないのもっと作ってほしい。		
	交通機関が充実していないこと(バスや飛行機の本数が少なく、運賃も高い)。LCC がまだ浸透されていないように感じる。		
	交通が不便。		
	宅配や書籍などの配送に時間がかかること。		
住用	進学、就職のチャンスが少ないこと。		
	ゴミのポイ捨て。若者の就業先がないこと。		

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見	
20 歳代	女性	笠利	交通が不便。大坂、東京には行きやすくなったが他の県には行きづらい。	
			正規雇用の職場が少ない。	
			彼氏がない(適当な結婚相手が…)特にはないです。	
			高齢者が増えるなか、まだまだ優しくない町に感じる(道路、施設での使いやすさの配慮がないと思う)	
			笠利町にお店が少ない。働く場所が少ない。	
30 歳代	男性	名瀬	夕方、市街地での交通渋滞。	
			福岡までの帰省に感じる不便さ。航空機の増便や LCC 誘致をお願いしたいです。	
			たくさんの税金を払っているにも関わらず、公共施設や公園が汚すぎる。生活保護受給者に使い過ぎではないか。一年に一度しかこない野球チームのために施設を整えるくらいなら、子どもがたくん使うプールを直せばいいと思う。転勤者で成り立っている島なのだから、もっと転勤者に優しくしてほしい。	
			収入が少ない。	
			外出先(買い物、遊び場)の少なさ。	
			生活の便利性の部分では不十分。生活水準の編りが大きいこと。	
			なし。	
			夏以外、島はつまらない。冬でも楽しめるテーマパークがあってほしい。	
			平日の夕方渋滞で進まない時。	
			雲や雨の日が多く、冬は風が強い。	
			家族に何か問題が生じたとき。	
			仕事を選ぶことが満足にできない。給料の差、雇用形態にすごく未来を感じない。	
			市役所職員(全員ではないが多い)の対応が悪すぎる。庁内に入りたくない。	
			仕事のことに不満が多い。	
			災害や事故が起こったとき。	
	行く場所がないこと。			
	天候次第で職がないため、食べていけないこと。			
	特になし。			
	物価(食料品や燃料費)を高いこと。			
	停電が多い。			
	娯楽施設が少なく、時に退屈に思うこと。			
	女性	名瀬	住用	仕事や給与を考えると、将来設計ができないこと。
				島なので、台風などの天候次第で物資や人の移動に不便が出ること。
				税金が高い。特に国保税等。
	女性	名瀬	笠利	買い物までの距離が長い。
				出勤、帰宅時に渋滞することに不満を感じる。
				物価が高い。交通面で旅行しづらい。虫(ヤスデ)が大量発生しており、猫対策よりよっぽど身近な問題となっていること。
仕事をしようか迷っているが、賃金が低い。また同時に、保育料が高い事。				
島外から移動する際に、時間がかかること。				
大雨や台風によって家への被害が心配されるとき。本屋や洋服屋が少ないこと。				
政治家の選挙の時だけの対応。福祉医療。				
特にはないです。				
交通の便。				
ストレス発散の場が少ない。ショッピングできる所や、公園など軽い運動が出来る場所がない(あっても草などがすぐ使用しにくいなど)。				
友人を観光に呼びたいが、連れて行ける所が少ない。健康ランド等娯楽施設がない。				
生活のために仕事を多くする必要があり、子どもとゆつくりすごせない。				
ガソリン、家賃、食べ物が高い。給料は少ない。親が島にいなければ出てる。これでは 2 人目も産めません。				
町内会費。				
子どもの保育料が高い。育児手当が入るのが遅く生活がぎりぎりです。子どもの遊べる施設や公園遊具の充実を求めます。たくさんの公園の遊具が使用不可になっており遊びに行ける所が少ない。				
能力や人材があってもそれを活かせる土壌が少ないこと。行政の対応力が弱い。				
お金がなかなか貯まらない。				
将来が不安。賃金等。仕事等。				
店舗が少なく送料が高いので買い物には少し不便。				
奄美から鹿児島島に行く時にお金がかかりすぎて閉塞感が強い。もっと気軽に行けるように交通費を安くしてほしい。				



〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
30 歳代	女性	名瀬	医療。小児科の不足。
			子ども達が体験出来るのが都会と比べると少ない。
			医療。行きたいと思える病院が少ない(ない)。
			子どもの医療費の窓口負担です。あとで返納されるのではなく、最初から負担をなくしてほしいです。
			医療機関が充実していないこと。特に小児科、婦人科の専門医が少ない。鹿児島に不妊治療の為に通っているが、お金が続かず辛い。
			集落や親せきとの距離の近さ。
			皮膚科の病院が少ないこと。産後ケアセンターがないこと。雨の日に子どもを遊ばせる施設がないこと。
			空き家、空き部屋が少ないこと。家賃が高い。労働賃金が安すぎる。県営、市営住宅の待ちが多すぎる。
			物価が高い。建物の老朽化。
			時々育児が大変に感じる。
			物価が高い。収入が少ない。大規模リゾート開発は反対。上方地区に子どもの予防接種を受けさせてくれる小児科が水曜日休診ばかりで困る。バス時刻表の行き先が理解できない(終点場所どこ？ I ターンや観光客にはわかりづらい)。
			特になし。
		子育てに掛かるお金の負担が大きい。働いても税金が上がり収入(手取り)は全く上がらない。子どもがたくさんいるほど、生活が苦しい。収入の格差を感じており、子どもを中学、高校と進学させてあげられるのか不安に思うこと。	
		交通が不便なこと。ゴミ捨てのモラル(ポイ捨てをよく見ます)	
		休日に行く場所や、子ども連れで行ける飲食店が少なく、雨の日は家で過ごすしかないこと。	
		特になし。	
		賃金が低く、I ターン者が多いこと。伝統が薄れていること。	
		噂話が多く信用できないこと。また、常識が無く過保護な親が多い。	
		仕事でミスをしたとき。	
		もう少しゆとりを持ちながら子育てできる制度がほしい。遠征費にとっても費用がかかる。	
		単身用アパートやマンションの家賃が高く、建物も古い。	
		仕事が少ない(小さな子どもがいる母にとって)。	
		専門の医療施設が少ないこと。税金に比べ、給料が少ない。	
		医療に関してはとても不安、不満。大きな病気したときに本土まで行かないといけなから負担がかかる。	
		旅行に行くのにお金がかかる。日帰り旅行が難しい。	
		住用	物価が高く、給料が安いこと。
			子どもを遊ばせる所が少ない。信頼できる医療機関がない。物価が高いので収入と支出が合わない。
駐車場の料金が安い。			
子どもが少ないこと。田舎なので店も少なく、公園も近くにないこと。			
中学生の医療費を無料にしてほしい。高校生のバスの定期券代をもっと安くしてほしい。			
笠利	交通が不便。交通費、物価が高い。		
	働いて稼げる賃金が安い事が不満です。		
	一人暮らし出来る職業が少なく、賃金が安い。家賃が払えない。高い。		
	収入が少ないこと。		
	何かあった時に、すぐに島を出ることができないこと。本土と陸続きでないこと。		
	奄美出身の人々の働きの悪さ(接客マナーのなさや時間のルーズさ)が不満。		
	仕事がうまくいかないとき。		
	小児科が少なく、笠利からは遠い。また婦人科も少ない。若い人が少なく感じる。子どもがいるから繋がりが出て来たが、仕事で来ている若い単身者は、人に会う機会も少ないと思う。奄美に住み続けたいので、中国人などに土地を売るときにはちゃんとした契約をしてほしい。		
40 歳代	男性	名瀬	収入や経済面で格差を感じる時。
			賃金が低いこと。
			公園(あさひ公園)など大事にしてほしい。あいあい広場のような場所をもっと欲しい。
			特になし。
			仕事。
			仕事の割には給料が安い事。
			親の介護。
			ブラック企業が多い。
			夜間が暗い(街灯が少ない)。お店が少ない。
			賃金の安さ。天気予報に奄美大島が抜けている。税金が高すぎる。地元産の食材より冷凍ものが多い。運転が下手。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
40歳代	男性	名瀬	交通マナーの悪さ。モラルにかけた人間。高い物価。雨天時に行く所がない。
			少子高齢化。
			物が充実していない。
			インフラが整っていないこと。子どものための遊び場が少ないこと。
			「働き方改革」というものの、労働環境が改善されないこと。
			特に60代～70代に多い傾向にあるが、島外の人を見下す風習、常識が通じないところ。馴れ合いでほぼ無法地帯になっているところ。
		住用	ここに書ききれないほどたくさんある。
			独り暮らしのため、家族との会話などが無いこと。
			離島ならではの問題があること。(一行では足りません。)
			物価が高いため、補助があってもいいと思う。
			子どもと遊べる場所が少ない。島外への旅行なども困難であること。
			充実した医療が受けられない。子どもが遊べる場所がない。
	笠利	身近にスーパーがないため、休日が買い物の時間になってしまうこと。	
		物価が高く、とにかく若者の仕事場、仕事がない。	
		自分の意見を表立って言わないこと。(陰では悪口ばかりなこと。)	
		人々に無視されるのは辛い。生き甲斐がないこと。	
		視野の狭い人間が多いこと。	
		集落の人口が減ってきている事(特に子ども)。	
	女性	名瀬	買物(ちよっとした)に時々不便を感じる。土砂崩れの影響で道が通行できなくなり、約2年になるが未だ通行できず。
			家の近くにスーパー、コンビニがないため買い物が不便なこと。
			賞金の安さ。物価が高い。
			国道が狭いことで、物流の人や車両の妨げになっている。アパートマンションが足りない。インフラを整備しないと町は発展しない。
			考え方が合わなくなると、すぐ仲間外れにすること。
			時々窮屈に感じるところ。
名瀬		車のマナーが悪い。(運転する人はライト点灯出来ていなかったり、適当に駐車しているので迷惑に思うこともある。運転しない人は、信号のないところで道路を渡る。)時間に遅れて平気な人が多い。例えば、業者が「また連絡します」と言って、連絡がないなど約束や時間を守れない人がいること。私は島暮らしで慣れてきましたが、観光客にとっては「どうなんだろう」という出来事が多いです。	
		以前のアンケートにも書きましたが、このようなアンケートのデータを取っているだけで、市の仕事をしているつもりでいることにとっても不満を感じます。税金の無駄遣いですね。	
		公共交通機関を充実させてほしい。	
		人間関係が密着しているので、合わない人間との関係にストレスを感じたりするところ。	
		税金。国道沿いの雑草。	
		幼児虐待やテロ等のニュースを目にした時、悲しくなります。	
一日、一カ月、一年、それぐらいしか今の所希望を持って生活できない事。			
なにもなさすぎる。			
交通渋滞。僻地医療が充実していないところ。			
不幸も不満もないが、不安に感じることはあります(就職に関して正社員の募集が少ない)。			
交通ルールやゴミ捨てのマナーが守られていない場所をよく見かける。			
接客態度がなっていない。料理の盛り付けさえも下手。色んな職業でも内地(鹿児島等)に研修に行ってもらいたい。やる気が伝わってこない。観光客をもてなすなら食事が美味でなければ楽しみが半減すると思います。			
物価が高い。名瀬の街で買い物が出来る所がない。昔は名瀬に行くことが楽しかった。クリスマスシーズンなど、デザイン性の高いイルミネーションがあればいいのに。近隣の人口が減り、売上が激減した。			
仕事の人間関係。			
離島の経済負担。			
モラルが低い。役場でさえ低い。			
物価が高い。チェーン店がない。台風などで船が止まる。			
妻として嫁として母として恵まれているとは思う反面、個人の自分がない状態。例えば、実家にも気軽に行けない。友達とも会えない。あえて言うならのレベルです。			
交通の不便さ。			
お店が少ない。			
子どもを育てることに限っては遊べる場所が少ない。医療機関に限られるなど制限が多いということ。これでは少子化になっても仕方ないと思います。			



〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
40 歳代	女性	名瀬	母子(父子)家庭やパートの方も多く、子どもの環境(生活面、経済面)が心配になること。
			ショッピングセンターやレジャーが少ないこと。雨の日に子どもが遊べる施設がないこと。
			島を出入りするときに費用がかさむこと。進学先が少ないため、島を出なければならぬこと。
			給食センターをすすめていること。医療に選択肢が少ないこと。
			体調が悪い時。やりたいことが出来ない時。
			公共交通機関のサービスが不十分であること。
			特に教育面で、行政に不満を感じる。子どもたちの給食をセンター化にしたり、教育予算(財政)もどのように使われているか・・・？奄美市も行政を監視する機関(オンブズパーソン制度)を導入したほうがいいと思う。
			家賃や物価が高いこと。
			物流の悪さ。町に活気がなく、汚く整備されていないこと。
			特になし。
			離島のため、本土へ行くときに費用(子どもの遠征費など)がかさむこと。
			付き合いの飲み会が多く、主人がよく駆り出される。雨が多く、風が強い。
			噂がすぐに広まるところ。
			求人が少ないこと。
	老後の生活。医療費。		
	体の不自由な方や高齢者の方々が生活しやすい設備が整っていないこと(道路、エレベーターなど)。		
	子どもの育て方(自分自身への反省)		
	住用	一生懸命にしているのに、無視されたり水を差されたりするとき。	
		人間同士の競争。親の過干渉。	
		仕事が無い。給料が最低賃金以下の所が多い。雨が降ると採石場から土が海に流出し、海が濁っており、サンゴや貝が死んでいるのを見た時。	
教育資金や生活にお金がかかること。			
なし。			
なし。			
笠利	給与、時給の低さ。ガソリン、灯油、プロパン等の料金が高いこと。地元食材以外の食料品が高いこと。		
	賃金が安い事。名瀬の人々がわがままである(体育祭の競技の選定等)。		
	十分な医療機関が整っていないこと。高校大学と進路の選択肢が少ないこと。		
	現在家事手伝いなので、お金がないことです。		
-	名瀬	給料。	
		良くわからない。	
		夫。	
50 歳代	男性	名瀬	公共の公園や道路などの雑草が多いこと。
			仕事のプレッシャー。
			モラルの低い人間がいることで、関係がうまくいかないこと。
			体力の衰え。
			高速道路がない。追越車線がない。車のスピードが遅い。路駐が多い。店が少ない。(ナフコ、ニトリ、ハンズマン、すき屋、ケンタッキー、ローソン、セブンイレブンがあったら天国です)
			世界自然遺産を目指している反面、道路沿いにゴミが散乱しているのを見ると不満というか、住民の意識が不足していると感じる。
			美しい奄美の自然に不法投棄が多すぎる事です。
			仕事がない。
			身内が金にだらしない。
			発展とともに奄美らしさが失われていく事。
			特になし。
			物価が高い。
			仕事のストレス。
			医療機関が充実していない。離島の不便さ。
			海があり、自分で移動できないこと(船や飛行機が必要)。
			車を持っていないので、島のあちこちに遊びに行きにくい。
			仕事へのプレッシャー。
			天気により物価が乱れ食品が不足する。
			50 歳になると仕事がない。
			悲しい出来事を見聞きするとき。一日の24時間が短い。
職業と働く場所が少ない。			

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
50 歳代	男性	名瀬	人口減少等に思う将来の奄美。
			役所の行っている野猫対策(的はずれとしか思えない)
			給料が安く、物価が高い。
			日々の生活(仕事)に追われ、十分に自分の時間を作れない。
			常識が無い人が多いこと。なあなあであったり、人に頼りすぎる人がいること。
			仕事はあるが、人が不足している。
			短期雇用が多く疲れる。(ボーナス前解雇)同一労働賃金でない。会社内部留保(預金)。信用情報機関の不正。ルール無視。
		自然破壊。	
		特になし。	
		笠利	休暇を得るために働きづめで奄美に還れないこと。
			交通の便があまりよくない。鹿児島市などに行くのに費用がかかる。
			まわりを気にしすぎる。干渉されやすいところ以外は何もありません。
			交通の便が少ない。天候が悪いと船、飛行機がストップし、品物が不足してしまう。
			市民の声をきいて、反対か賛成か、自然遺産するのか、自衛隊を奄美に呼ぶのか、アンケートをとってからしたらよかったのに。自然遺産になると外国から色んな人が来て治安も悪くなるし、大変な事が起きたりすると思うから今の子ども達も心配です。
	飲食業を営んでいるので、台風が来ると船の欠航や停電が不安。		
	行楽地やレジャー施設が少ないこと。		
	女性	名瀬	喜びを分かち合う家族と離れていること。
			なし。
			病院が選べない環境に不満があります。
			子ども達が帰りたくても雇用がないのが残念です。
			物価が高い。駐車場がない(高い)。
			将来の夢が描けないこと。仕事をしたい時に助けてくれる人がいないこと。
			特になし。
			行政とのやり取り。市民参加のボランティアに対してもっと関わりもってほしい。
			サンゴの白骨化。絶滅危惧種盗掘。
			子ども達の島内では進路が狭すぎるので仕方なく島外へ出さないといけないところは不満ですね。
			薄給、物価が高く、子育てするのは大変。若い世代が仕事が続かない。人員不足 etc
		必要な物が売ってない。Or 選択肢が少ない。遠方の為加わる経費が多い(特に教育関係)	
		あまりない。	
		ゴミの資源化不十分さ。離島と本島との労働賃金の差③独占企業、商業になりやすい風土。	
		進学や医療の面では都会との距離(感)を感じるところ。	
		働く場所。ちょっとしたバイト先がない。	
		旅費がかかりすぎる。働く人が少ない。	
		島で若者が働く所が無い。給料も安い。島おこしをする人は若者が必要だと思う。	
		子どもがいないこと。	
		最近、知人友人が亡くなるが増えた。自分大事もいいのだが、周りにも目をやる心遣いを失っていること。将来未来の若者たちが元気に暮らせる島国であるよう、大人ががんばろう。	
経済的に苦しくなると、心配や不安ばかりが多くなりますが、子どもが成長し養育に少し落ち着いてくると少なくなりました。			
行事が多く時間に追われることが多い。			
収入と生活費が合わない(家賃、物価)(若い人の生活が安定しない)。			
道路ばかり広くして、もう少し人が集まれる場所がないこと。有料駐車場が増えすぎて車を停める場所がない。			
特になし。			
将来に向けての健康。			
子どもの就職先が無いので、子どもと島で暮らすことができないこと。			
観光地が少ないため、友人が遊びに来て時間も持て余すところ。医療が充実していないところ。(自分自身、奄美で手術できないということで、島外の病院に行ったが、精神的、金銭的負担が大きかった)			
道路の雑草が放置されていること。せっかく奄美に来て下さるお客さんに失礼なので、観光客の通る道だけでも定期的に草刈りをしてほしいです。			
医療機関が充実していないこと。			
人間関係が近すぎて、ストレスがたまること。			
お金が貯まらないこと。			

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
50 歳代	女性	名瀬	ゴミ出しのマナーの悪さ。せつかく大学まで進学しても島で奨学金を返金できそうな就職先がないこと。考えてみると満足より不満が多いですが、その中で生まれ育ってきたので「当たり前」になっています。良い方向に変わってほしいです。
			理不尽なことを言われたとき。
			職場でのストレス。
			税金が高い。国民年金の受給額が少ない。子どもたちの遊べる場所や公園などの遊具が充実していない。公園の遊具は、錆びたり壊れたりしているものが多い。
			知人の知的障害者は対人との生活が難しいため、今後受け入れてくれる施設があるか不安です。多くの方々に協力していただいています、色々難しい問題があるようです。
			人口減少。仕事や娯楽場などが少ないこと。
			時間的にも経済的にも余裕がないこと。
			特になし。
			産業、経済の流れが滞っている。世界遺産などというけれど、行政だけの取り組みのように感じる。自然保護に対する認識が薄いと思う。もう少し力を入れないと、他の地域に後れをとると思います。
		将来の老後のこと。	
		考えないようにしている。	
		仕事が忙しいこと。	
		住用	会社員で管理職ですが、人手不足と人材不足で仕事量が多く、休みもほとんど無く、体調が悪くても休めない。
			義父の介護に限界だと伝えても続けないといけない状況。
			奄美はハブが生息しているため、道路上や公園等の雑草を整備して安全にしてほしい。
		笠利	活気を感じられないところ。福祉や病院、移動手段がないところ。
			若者の仕事場がほしい。
			子ども達が帰ってきたいと思える場所を家庭でつくれなかったこと。少子高齢化社会に向けて奄美大島全体で深く議論してほしいと思うこと。制作が見えないこと。
	特になし。		
	合併してから笠利町が栄えることなくさびれていくような気がする。生活に追われている。		
	高齢者が多いのが不安と子どもが少ないのが淋しいです。		
	時給が低い。		
	特にありませんが、戦争がなくなればと思います。		
	協力がありそうで無いこと。水道料金の高さ。		
若者が居住するが、定着していけない事。住居、仕事の充実拡大が必要ではと感じております。			
若い子が島に残れないこと。老人が話の出来る場が少ないところ。			
正しいこと(人)が、正しく評価されないとき。			
物価が高い。台風時の停電。			
-	名瀬	老後のこと。	
		島外に外出するときの便が悪い(特に飛行機の時刻)。	
		希望は鹿児島への永住。将来や老後のためのお金への不安。この島から出たい気持ちが日増しに強くなる。	
		離島のため、島外へ出る時に自動車移動するのに費用がとてもかかってしまうこと。	
		沿岸整備による景観への悪影響(例えばテトラポットとか)。医療機関の充実。	
		家賃が高い。物価が高い。	
		本島(九州)に陸続きでない。車で行けない。交通不便。若者が働く仕事(職)がない。	
		タバコの吸い殻、空き缶、ごみを平気で投げ捨てる人が多いこと。	
		なし。	
60 歳代	男性	名瀬	貧乏であること。
			周りの人に見られている。
			県の「さつま支配」感が残存する。
			特になし。
			医療面の都会との格差が不満。
			物品が高い。
			免許証返納後の交通、病院、買い物等、交通難民への恐れ。
			奄美の立地からしてやはり都会との閉塞感は払拭できない。
			ぼんやりする時。
			子どもたちのしつけの悪さ。スマホの使い方。ゴミのポイ捨て。
普通(良くもなく悪くもない)			

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
60歳代	男性	名瀬	仕事が少ない。賃金が安い。
			居住地から名瀬市街へ行くまでに大熊峠を越えるのにおよそ 64 カ所のカーブを走行しなければいけないことと、交通マナーにやや欠けること。
			余りにも付き合いが多すぎてお金の負担が多すぎる。
			一般人、7割以上日常的に常識がない。行政の50%以上墜落(権威主義)行政人多し。
			若者は子育て中で大変とは思いますが、地域での協力が少ない。
			わからない。
			買い物のお届けサービスがほしい。
			健康保険証が高すぎる。無駄だと思うが、老人の介護、負担が多すぎる。この意見は必ず反映させるように。
			特になし。
			物資不足や医療が充実していないこと。
			子どもの働き口が少ないこと。
			雇用がないこと。
		奄美市政。	
		道路に洗濯機や洗濯物を干している家があること。	
		子どもが県外におり交通費もかさむため、すぐに会うことが出来ないこと。	
		高齢者の職がなく、税ばかりが重くのしかかってくる。	
		物価が高い。	
		住用	身勝手、利便、経済に動いている時代で感情の乏しい人が増えていると感じる。
	病気で運転ができないことです。		
	物価等が高すぎる。		
	毎日の買い物が大変です。移動販売等あればうれしいです。		
	人情味が薄れている。		
	本土に比べて、物価が高いこと。		
	笠利	公園等の整備(劣化)。トイレの水洗(ウォッシュレット)の設置がない。	
		信用。	
		毎年の台風災害。	
		入院患者が三か月おきに病院を変わらなければならないこと。	
		特になし。	
		特になし。	
	女性	名瀬	物価が高いこと。ただし、「幸せ」「不幸」は他人と比べてはいけな！と常々思っています。
不条理な政策が行使されること。			
離島だということ。			
奄美に自衛隊の基地は要りません。			
生活が良くならないこと。			
税金が高すぎて生活していくことが出来ません。			
島民全体の精神レベルがもう少し高まってほしい。			
自分の兄弟、子、孫が大きな病気になり生活ができない状況になったり、一人暮らしの老後の孤独死など。			
町にあまり人がいないこと。			
行政の対応が遅い。市民の声が届きにくい。			
悪天候により船が欠航する度、離島をつくづくと思いらされる事。			
生活保護世帯に対する行政の指導不足。また、奄美が自立できていないのか無駄が多すぎる。意味のない市議員が多い。			
特になし。			
主人の介護で自分の時間がまったくない。			
特にありません。			
年金をもらえるまでの間は支出が多く、これでやっていけるのか少し不安を感じる。			
タバコやゴミのポイ捨てが多い。			
まだ働けるが適当な職場がない。			
大自然が世界遺産へとなるようにまだまだ意識が高まっていないような気がします。ゴミを捨てる人が少なくなると良いですね。奄美の宝ですから。			
大なり小なり誰しも悩みはあるから別に苦労は感じない。			
こんな調査にA4封筒を使う必要はないです。奄美市総務部は税金をもっと大事に使ってください。			
税の不公平さ(真面目にこつこつと働いて未納がない人にはバカをみる)。			

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
60歳代	女性	名瀬	島は給料が少ない。有休が使えない。交通費も高い。行動が限定されどこにも行けない。飛行機、船代も安くしてほしい。
			わかりません。
			離島ということで、医療関係が少なすぎて先が不安。
			お金がないこと。
			障害者なので自由に動けない事。
			ない。
			休日にもデイサービスが制度化されると、イベントなどへの参加ができるようになり生活を充実させることができる。
			物は豊かになっているが”お互いさま””分かち合い”の心がなくなっていること。
			特になし。
			アーケード街の寂しい風景。
			住宅問題。
			バスの本数が少ないこと。町の中心に大型店がほしい。ヒカゲヘコの金作原の所に馬車がほしい。
			自分の生活を豊かにしていきたいと思って一生懸命仕事に頑張っても、税金や家賃が上がっていくこと。息子たちの給料が安く生活に困っており、親がゆっくり出来ないこと。
			奄美の自然のなかにいると、不幸は感じられない。
			病気のため体調が悪くなったりすること。
			基幹となる産業がないこと。
			島の人の仕事に対する考えは甘いと思う。市役所の人が率先してもっと観光に取り組むべきだと思います。
			年金での生活は厳しい。
			スポーツ、体力づくりのできる施設が少ないこと。
			特になし。
			道が狭いため、火事の時などに救急車がすぐ来られないのではと心配です。道路の整備をしてほしいです。
		不幸や不満をなるべく考えないようにしています。	
		経済的にゆとりがないこと。交通費がかかるため、子どもや孫と頻りに会えないこと。	
		1日1日を大切に過ごしているので、考えたことはありません。	
		離島のハンデ(物価高、低賃金、運賃が高い、お付き合いの多さ)があること。	
		特になし。	
		子どもの遊び場がないこと。	
		予算の関係もあると思うが、道路の修繕等に時間がかかること。専門医が少ない。輸送費が高いこと。	
		全体的にマナーの悪いのに驚きました。タバコのポイ捨て、犬のフン、車の駐車。	
		物価が高い。年金が少ない。	
		不幸とか不満はないです。充実しています。	
		住用	腰と足が痛いので、歩くことが苦痛であること。
			他人への迷惑を考慮せず生きている人。地域の行事に協力しない人。
			物価等が高い。子ども達の遊ぶ場所がない。
			親を亡くした時。
			体調不良もあり年金生活ですが、消費税が高くこれから先が不安です。
		年金が少ないこと。	
		笠利	同じ島でも違いがあると思われるが、新しい事や新しい文化を寄せ付けずに変化していけない点。人の考え方も変わらないし、変えきれない土地だと思う。
			今の生活に満足していますので不幸を感じた事はありません。
			将来、足である事の運転ができなくなる事を思うと生活するのに不安、不満を感じる。医療機関、福祉、日常生活に欠かせない商店がない。
			野良猫が奄美のクロウサギとか食べているのをテレビのニュースとかで見たら不満というかなんとかしたいです。
			旅費が高く娘のところに行けないこと。
周りの目が気になり、自由が無い。			
都会の子孫の交通費が安くなったら帰ってこれるかな。			
スーパーが少ない。			
集落内に品物の充実した店がない。郵便局(簡易)が無い。			

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
60歳代	-	名瀬	なし。
			年金が少なく、生活が心配。
			医療機関が充実していないこと。夜の街並みが暗く、娯楽施設も少ないこと。
			特になし。
			毎月の生活費用のやりくりが大変。孫の遊び場が少ない。高齢者が、運転免許証を自主返納した後公共交通機関を利用できるように交通網の見直しをしてほしい。
			夏が暑すぎる。
			現在、病気治療のために入退院を繰り返して、健康上の不調により日常生活に満足できていません。健康さえ戻れば、お客様にも奄美にも貢献できると考えております。
70歳代	男性	名瀬	自然災害に弱いところ。特に名瀬地区は、行政の対応が出来ていないところ。
			教育のこと。(先生方の考えの方向性について)
			集落の道路が狭く、下水道がないこと。
			島唄に比べて「八月踊り」継承への熱が薄れていくこと。
			税金が高く、無駄も多いところ。奄振に委ねていること。
			商店街に活気がない。転勤で都会に行った人は奄美に帰ってこない。物価が高い。ガソリン値段の表示がなく、高い。何でも商品の値段は表示してあるのが当たり前だと思うのですが・・・。
			高齢者が多くなって、交通ルール、日常生活のマナーが希薄になっている現状を見た時等々。
			仕事がない。企業不足。物価が高い。若者が少ない。→仕事があれば増える？。年金が減った。介護保険不要。税金が高い。住民の声を行政にとどけたい。
			なし。
			ゴミが多すぎる。海岸だけでなく道路でも山でもゴミだらけの島だと思う。
			隣近所の付き合いがない。あいさつも無い。知らないふりをする。悲しい。近くに小売店がないため、遠くまで買い物に行かなければならない。家の周辺をきれいにしない。道路、ゴミ置き場など。
			県外へ旅行したくても交通費が高く、年金生活者は出れない。
			交通機関。
			物価高。台風時の生鮮食品不足。介護従事者不足、待遇(特に給与)の悪さ。
			市内ぼろぼろ。
	経済力が無いこと。年金だけでは生活が苦しい(貧困層が多いこと)。		
	なし。		
	特になし。		
	特になし。		
	老人医療の充実(2割、3割)1割になってほしい。		
	物価が高く、生活できない。		
	若者の仕事がないことです。奄美の宝は若者ですね。		
	物価(ガソリン)が高い。		
	住用	自然環境を壊さぬ努力を行政がしていないところ。	
		少子高齢化。人口減少。	
		人間関係、集落の人との関係。	
		天候不順が続くこと。	
		なし。	
		笠利	
	行政のあり方、合併以降何も変化なし。名瀬地区以外行政側の明確な方向付け、取り組みについて見たことも聞いたこともない。住民は何も知らないし、認識もない。		
	人類がこれまでに成し遂げてきた実績から逆行していること。		
	女性	名瀬	なし。
			第一に健康でいたい。いつ具合が悪くなるかわからないので、今は一日一日を大切に過ごしています。
商店が少ないため買物弱者で不自由しています。			
自分自身の肉体の衰えに不安を覚えますが、不幸とか不満に思うことはありません。			
年金が少ないこと。			
なし。			
将来自衛隊に依存できるのか心配。自然が壊されつつあること。			
毎月の生活が安定していない。			
考えが浅く、人の陰口を言う人が多い。人口減だというのに道路を広げている。			
介護保険、後期高齢の保険料が少ない。年金から引かれるのが大きい。			
高齢になり、交通機関に満足できない。			
子ども三人が都会に住んでいること。上方に住んでいて市内行きのバスが少ないこと。			
全体の道路や町に花が少なく暗い感じがする。花で町を明るくしてほしい。			
あまりない。			



〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
70歳代	女性	名瀬	以前は感じ考えたことがあるけど、今は今を幸せと思っているので不満不幸より皆さまに感謝して生きています。
			個人的なことになりますが、娘が信州に嫁いでいて陸続きであればと思いますが、その他は不満ではありません。
			物価が高い。
			子育て支援も大事だが、高齢者にも目を向けて欲しい(いろんな面で)。
			あまりありません。
			慣れ合いが度を越すと疑問である。
			台風シーズン。
			住民が不足して家賃が高い。
			ありません。
			次世代(孫達)奄美での生活に不安を感じます。くれぐれもこれからの若者たちの希望の持てる奄美にしてほしいです。
			地区に差別があるように感じる。
			なし。
			一人生活で誰も頼る人がいない。
			町の中の道路の広さに不満(少子化、又、人口減少の現在)。自然がなくなっている。バス停の椅子(ベンチ)日よけの木、かげ、雨よけ、ない事。奄美の花が少ない。観光客は寂しいと言ってます。
			年金に対して税の支払いが多い事が不満ですが、不幸とまでは思わないです。
			2人揃ってこそその人生と思っていたが、あまりにも早く独り暮らしになったこと。
			天候が悪いときに、物資が届かないこと。
			奄美メインの商店街に活気がないこと。別名シャッター通りと言われており、商店街へ行っても寂しいです。
			70代になったので、老化が心配です。
			時に寂しさを感じたとき。
		軽度の難聴になってから、他者との会話を避けるようになったこと。	
		交通が不便なこと。	
		子どもたちが帰ってきて働けると良いと思います。	
		特に若い人に、仕事が少ないこと。	
		離島であるため、本島への交通の便や運賃などで家族や友人との関わりが少なくなっていること。	
		特になし。	
		生活面で苦しいです。	
		幼少期と比較すると地域の繋がりが少なくなっている。お互いに助け合う話し合うことが少なくなっている。「結い」などと言われているが、現在は結いの精神はなくなってきている。	
		医療のほうはまだ充実していないと思う。	
		住用	福祉、特に老人ホームの入所の問題。
			道路標識がはっきりしない。わかりにくい。
			交通が自由にできないこと。
			集落の人口が少なくなり、活気がない。
		笠利	車を運転して名瀬に出る時に、事故を起こさないように気をつけること。
			お店が少ない。
			税金、医療費が高すぎる。
			買物が不便。赤木行きのバスがなくて不便。郵便局が遠い。信用組合が遠い。
			食品などが本土より高額。航空運賃が高額。本土への行き来が少なくなること。
			少子高齢化で活気がなく、限界が急速に進んでいます。人々の絆も希薄になりがちです。
			ありません。
			経済面で将来に不安を感じる。
			道路の整備。住宅と畑の堺の牧草。集落は高台への道路が整備されていない。いざというときの逃げ道がない。
交通の便が悪い事。お店がないこと。			
病気になったり、事故にあうこと。			
特になし。			
公共事業の遅れ。			
中心地の赤木名に店が少ないこと。後期高齢の健康保険税が高いこと。年々、年金が減っていること。(受給当時、2カ月で25万あまりあったものが今22万と少しであること。)物価が高く、生活にゆとりがないこと。			
年をとり車の運転ができなくなった時に、スーパーや病院などへの外出が不便になること。			

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
70歳代	-	名瀬	なし。
			独居老人の見守りをせめて月に一度はして欲しい。2、3カ月に一度では手遅れだ。野垂れ死にしているかもしれない。宅配弁当の周知徹底。
			特にありません。
			保険が高い。
			将来福祉の充実はわかりませんが、医療機関の選択肢の少なさは感じます。
			先立つものなし。
			世の出来事を批判ばかりしているマスコミ。
			後期高齢者への支援をお願いします。
			介護保険が高い。
		台風が怖い。買い物不便。	
住用	人間として、あの人嫌いが気になります。高齢者達を大事にする事。		
笠利	不幸不満に感じることは、奄美は台風の常襲地とあって毎年悩まれているので、発生時点で人工的に何とか方向転換出来ないのでしょうか？気象化学の先生方切に祈願いたします。		
	運転のマナーが悪い。		
	あやまる周辺の観光地の整備を早急をお願いします。		
80歳以上	男性	名瀬	夢の持てる島にしたい。
			高齢者医療の介護保険や社会保険料が高いこと。ガソリンや食料品などの物価が高いこと。
			なし。
			奄美の若者の生活が十分に配慮されておらず将来に不満がある。
			なし。
			病気の時。
			台風災害で農作物の被害や病院への通院。
			人口減少への対応。
			もっと仕事(産業)が増え、若者が定着する施設が必要かと思う。
			なし。
			なし。
			特になし。
			特になし。
			分からない。
			道が狭いため、火事の時などに救急車がすぐ来られないのではと心配です。道路の整備をしてほしいです。
	結いといういい考えがあるが、他から集落に入ったものは何となくよそ者「内他人」とみられる。50年以上住人でも、酒席や行事の時に違和感を感じる。		
	足が不自由で思うようにいかない。		
	住用	行政の勝手な仕事。事前に周知しない。	
	笠利	あまりにも、若者が電化製品に頼りすぎていること。	
		車に乗れなくなった時、交通の便が悪く病院に行くにも行けない。	
		なし。	
	女性	名瀬	年齢を重ねると色々悪いところが出て来るところ。
			なし。
			不幸はなし。不満は犬の飼い主もっとマナーを大切にしてほしい。
			楽しいことや景色がきれいなど、心おどる事はありません。
			年金で生活ができない。
			年金が少ないこと。
一人は寂しいな。			
ない。			
ありません。			
ハブがいるのにマンガースがいない。			
猫が放し飼いをされていること。			
介護中でストレスを感じており、楽しいことがあまりないこと。			
独り暮らしで不安。子どもたちが定年になっても家がないため、島に帰ってくるができないこと。			
自分の足で歩けないこと。			
足腰が痛いこと。			
居住型老人ホームを考えてほしい。年齢を重ねるごとに、体が心配です。医療機関をもう少し充実させてほしい。家族が安心できるよう考慮してほしい。			
大人に挨拶をしても返事がないこと。			



〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
80 歳以上	女性	住用	奄美に仕事がなく、子どもを奄美に呼ぶことができない。
		笠利	一人暮らしで子や孫と離れて暮らしていること。
			友達が1週間に5回も来ること。 年を重ねるにつれ、主人との生き方考え方が苦しい時が多い。体調不良の時子ども達が県外にいる。帰島させる経済力がない。家が古くなり、修理代に困っている。
	-	名瀬	特になし。 テレビを見て、都会の高齢者は若い人が多いと感じます。
		住用	特になし。 高齢者が多く、学生が少なくなっていくこと。
		笠利	なし。 離島であるため物価が高い。
-	男性	名瀬	子どもの喜ぶところが少ない。
	-	-	年金の問題点も洗い直していただきたい。不公正税制の再検討を丁寧にしていただきたい。 子どもがみな内地にいますので、それが寂しいです。

#### (14) テキストマイニングによる「幸せ」や「満足」と感じること、「不幸」や「不満」と感じることの分析

テキストマイニングとは、通常の文章からなるデータを単語や分析で区切り、それらの出現の頻度や共出現の相関、出現傾向などを分析することで有用な情報を取り出す分析方法のことである。(12) 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じること、及び(13) 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることについて、テキストマイニングで分析した。

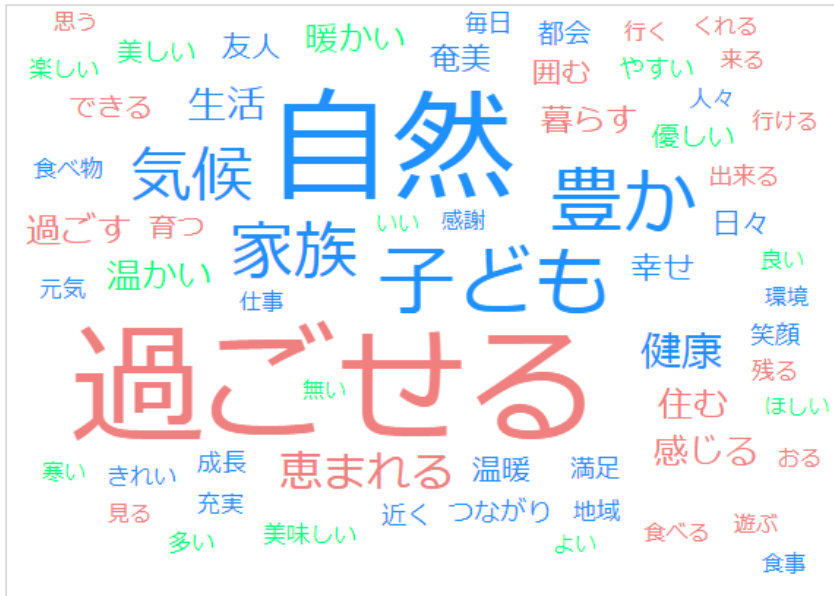
次頁のワードクラウドは出現回数が多い(多くの人が回答・挙げた)言葉を抽出し、その値に応じた大きさで図示している。名詞は青色、動詞は赤色、形容詞は緑色となっており、共起回数は、文章中に出現する単語で、隣接して出現する回数が多い組み合わせを上位から表にして示した。

「幸せ」または「満足」に感じることについて、単語では、「自然」や「過ごせる」、「子ども」、「家族」、「豊か」、「気候」等の単語の出現回数が多くなっており、共起回数では、「自然 豊か」が最も多く、次いで「健康 家族」、「できる 生活」、「気候 温暖」、「幸せ 感じる」、「子ども 成長」等の順となっている。豊かな自然や温暖な気候といった奄美ならではの環境と家族の健康や子どもの成長を幸せと感じる人が多いことがうかがえる。

日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることについて、単語では「少ない」や「物価」、「高い」、「子ども」、「交通」等の単語の出現回数が多くなっており、共起回数では、「物価 高い」が最も多く、次いで「子ども 少ない」、「場所 少ない」、「すぎる 多い」、「不便 交通」、「仕事 少ない」等の順となっている。最も不満に感じているのは物価に対してであり、「子ども 少ない」は具体的に、子どもが遊べる施設が少ないことや小児科が少ない・遠いこと、子どもが少なくなっていること、働き口がなく島に残れないこと等が挙げられ、また、交通に対しての不満を感じる市民の多くみられる。

ツール：ユーザーローカル テキストマイニングツール ( <http://textmining.userlocal.jp/> )

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることのワードクラウド〕

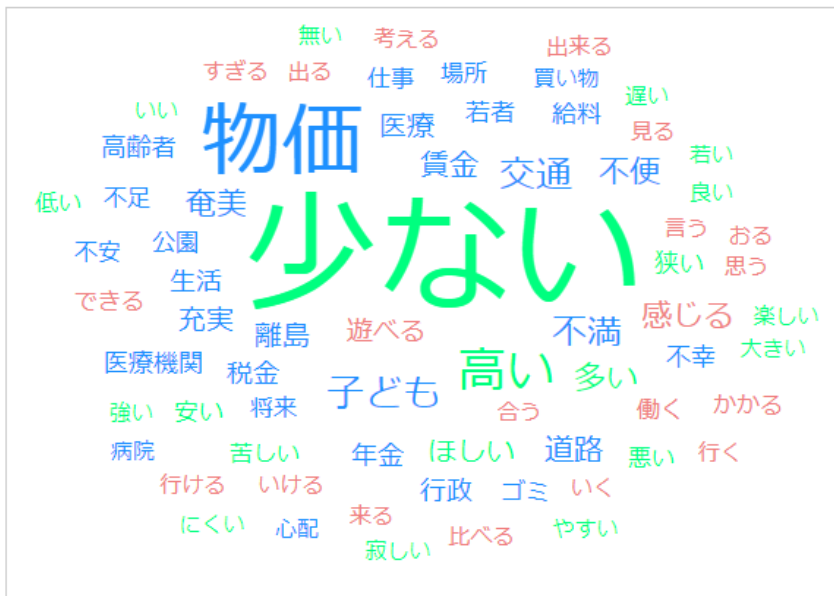


※日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることへの回答者数は 614 名

〔共起回数 上位〕

	単語1	単語2	共起回数
1位	自然	豊か	40
2位	健康	家族	22
3位	できる	生活	20
4位	気候	温暖	18
5位	幸せ	感じる	17
6位	子ども	成長	14
7位	健康	幸せ	13
8位	健康	生活	12
	家族	幸せ	12
9位	できる	自然	11
10位	出来る	生活	10
	家族	過ごす	10
	できる	仕事	10
	美しい	自然	10
	健康	日々	10
	多い	自然	10
	幸せ	思う	10
11位	仕事	健康	9
	健康	過ごす	9
	元気	家族	9
	できる	豊か	9
12位	健康	思う	8
	家族	生活	8
	友人	家族	8
	できる	健康	8
	残る	自然	8
	くれる	子ども	8
	美味しい	食べ物	8
	感じる	自然	8

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることのワードクラウド〕



※日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることへの回答者数は 596 名

〔共起回数 上位〕

	単語1	単語2	共起回数
1位	物価	高い	37
2位	子ども	少ない	13
3位	場所	少ない	12
4位	すぎる	多い	10
5位	不便	交通	8
	仕事	少ない	8
	不満	感じる	8
	充実	医療機関	8
6位	場所	子ども	7
	税金	高い	7
	不幸	不満	7
	できる	生活	7
	安い	賃金	7
7位	ほしい	奄美	6
	子ども	遊べる	6
	家賃	高い	6
	不安	感じる	6
	人口	減少	6
	安い	給料	6
	充実	医療	6
	できる	奄美	6
8位	場所	遊べる	5
	少ない	給料	5
	不幸	感じる	5
	多い	高齢者	5
	少ない	年金	5
	ガソリン	高い	5
	少ない	行く	5
	マナー	悪い	5
	すぎる	高い	5
	子ども	思う	5
	整備	道路	5
	不満	思う	5

### 3. 奄美幸福度指数

#### (1) 奄美幸福度 DI

DI (Diffusion Index) は、企業や業界の景況感等を数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられるものである。

各単純集計結果の「分からない」及び無回答を除いた回答数を求めた上で、『そう思う(「大いにそう思う」+「まあまあそう思う」の合計)』の構成比から、『そう思わない(「あまりそう思わない」+「全く思わない」の合計)』の構成比を引いて奄美幸福度 DI として指標化すると、以下のとおりとなった。全てにおいてプラスであり、特に「おもてなし意向度」は+78と他に比べ高く、一方、「医療・福祉環境の満足度」は+5と他に比べ低くなっている。

〔「分からない」及び無回答を除く回答数の構成比(%)と奄美幸福度 DI〕

	『そう思う』			どちらとも言えない	『思わない』			奄美幸福度DI
	大いに そう思う	まあまあ そう思う			あまり そう思わない	全く 思わない		
生活の満足度	46	14	31	38	17	10	6	+ 29
将来への希望度	44	16	28	34	22	16	6	+ 22
結い度	66	35	31	21	13	8	5	+ 53
愛着度	80	56	25	13	7	4	2	+ 74
教育環境の満足度	64	32	32	26	10	8	3	+ 54
医療・福祉環境の満足度	33	11	22	38	28	21	7	+ 5
地産地消度	68	37	31	22	10	8	2	+ 57
招待意向度	63	32	30	25	12	6	6	+ 51
おもてなし意向度	83	57	26	12	5	3	2	+ 78
永住希望度	73	54	20	16	10	6	4	+ 63

なお、28年度との比較をみると、「将来への希望度」、「医療・福祉環境の満足度」、「生活の満足度」、「愛着度」、「教育環境の満足度」、「招待意向度」は上昇、一方、「地産地消度」は低下している。

〔奄美幸福度 DI の 28 年度との比較〕

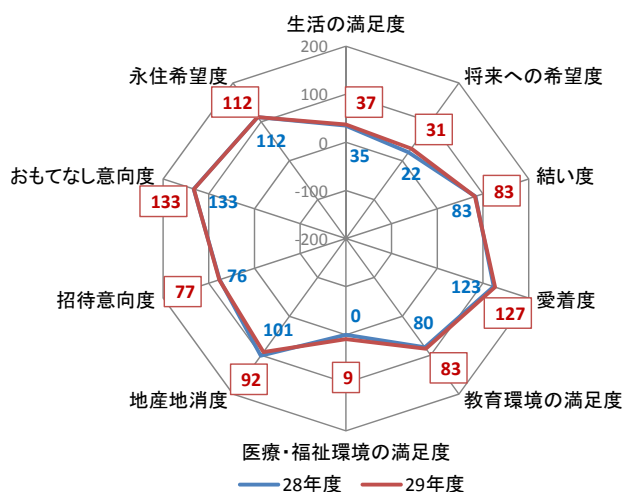
	奄美幸福度DI	
	28年度	29年度
生活の満足度	+ 26	↑ 3 + 29
将来への希望度	+ 15	↑ 7 + 22
結い度	+ 53	0 + 53
愛着度	+ 72	↑ 2 + 74
教育環境の満足度	+ 52	↑ 2 + 54
医療・福祉環境の満足度	+ 1	↑ 4 + 5
地産地消度	+ 63	↓ 6 + 57
招待意向度	+ 49	↑ 2 + 51
おもてなし意向度	+ 78	0 + 78
永住希望度	+ 63	0 + 63

#### (2) レーダーチャート

各単純集計結果の「分からない」及び無回答を除いた回答数を求めた上で、それぞれの構成比に、「大いにそう思う」は+2点、「まあまあそう思う」は+1点、「どちらとも言えない」は0点、「あまりそう思わない」は-1点、「全く思わない」は-2点と点数化し、レーダーチャートで示すと右図のとおりである。

最高点 200 点、最低点が-200 点であるうち、「おもてなし意向度」が+133 点と最も高得点で、次いで愛着度が 127 点、「永住希望度」が 112 点、「地産地消度」が 92 点などとなっている。

なお、28 年度との比較をみると、概ね同じ形となっており、大きな差はみられない。



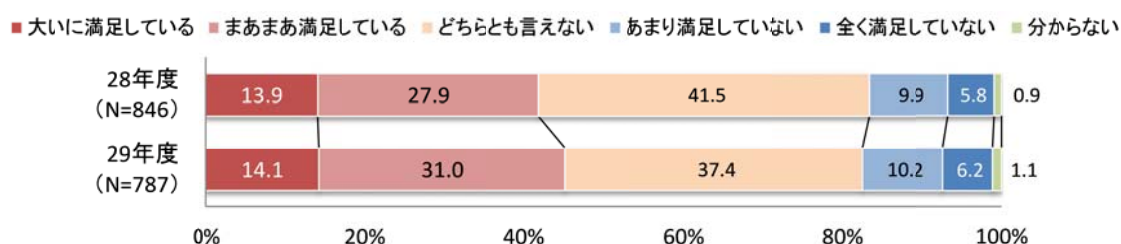
#### 4. 平成 28 年度との比較

各項目について、平成 28 年度の単純集計結果との比較を行った。

日常生活に対して満足しているか（生活の満足度）について、平成 29 年度は平成 28 年度から「まあまあ満足している」が 3.1 ポイント増加、「どちらとも言えない」が 4.1 ポイント減少し、『満足している』が 3.3 ポイント増加、『満足していない』が 0.7 ポイント増加した。

10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10～20 歳代の「あまり満足していない」が増加、10 歳代の「大いに満足している」が減少、居住地区別では笠利の「まあまあ満足している」が増加、住用の「どちらとも言えない」が減少となっている。

〔生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？〕



※無回答を除く、以下同様。

			大いに満足している	まあまあ満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない	分からない
性別	男性	28年度(N=329)	11.6%	28.9%	41.3%	10.0%	7.0%	1.2%
		29年度(N=304)	10.5%	28.9%	41.4%	10.9%	7.9%	0.3%
	女性	28年度(N=451)	15.3%	28.4%	41.2%	9.1%	5.1%	0.9%
		29年度(N=428)	15.7%	33.6%	34.3%	9.6%	4.9%	1.9%
年代別	10歳代	28年度(N=11)	63.6%	27.3%	9.1%	-	-	-
		29年度(N=17)	↓ 35.3%	29.4%	17.6%	↑ 11.8%	5.9%	-
	20歳代	28年度(N=63)	12.7%	31.7%	36.5%	7.9%	6.3%	4.8%
		29年度(N=45)	6.7%	33.3%	28.9%	↑ 22.2%	6.7%	2.2%
	30歳代	28年度(N=112)	13.4%	27.7%	38.4%	11.6%	7.1%	1.8%
		29年度(N=103)	12.6%	35.9%	35.9%	8.7%	6.8%	-
	40歳代	28年度(N=114)	11.4%	29.8%	38.6%	9.6%	10.5%	-
		29年度(N=100)	13.0%	27.0%	37.0%	14.0%	8.0%	1.0%
	50歳代	28年度(N=147)	4.8%	32.0%	46.3%	12.2%	4.8%	-
		29年度(N=130)	8.5%	36.2%	38.5%	10.8%	4.6%	1.5%
60歳代	28年度(N=194)	16.5%	28.4%	41.8%	8.8%	3.6%	1.0%	
	29年度(N=150)	12.7%	32.7%	37.3%	8.7%	8.7%	-	
70歳代	28年度(N=167)	16.8%	23.4%	44.3%	9.6%	5.4%	0.6%	
	29年度(N=158)	16.5%	28.5%	43.0%	6.3%	5.1%	0.6%	
80歳以上	28年度(N=32)	25.0%	15.6%	43.8%	9.4%	6.3%	-	
	29年度(N=80)	23.8%	21.3%	36.3%	10.0%	3.8%	5.0%	
居住地区別	名瀬	28年度(N=627)	13.2%	29.2%	40.8%	10.0%	5.6%	1.1%
		29年度(N=584)	13.7%	30.3%	38.4%	10.4%	6.5%	0.7%
	住用	28年度(N=69)	11.6%	27.5%	52.2%	4.3%	4.3%	-
		29年度(N=67)	9.0%	25.4%	↓ 41.8%	10.4%	6.0%	7.5%
	笠利	28年度(N=137)	19.0%	21.9%	39.4%	10.9%	8.0%	0.7%
		29年度(N=130)	19.2%	↑ 36.9%	31.5%	8.5%	3.8%	-

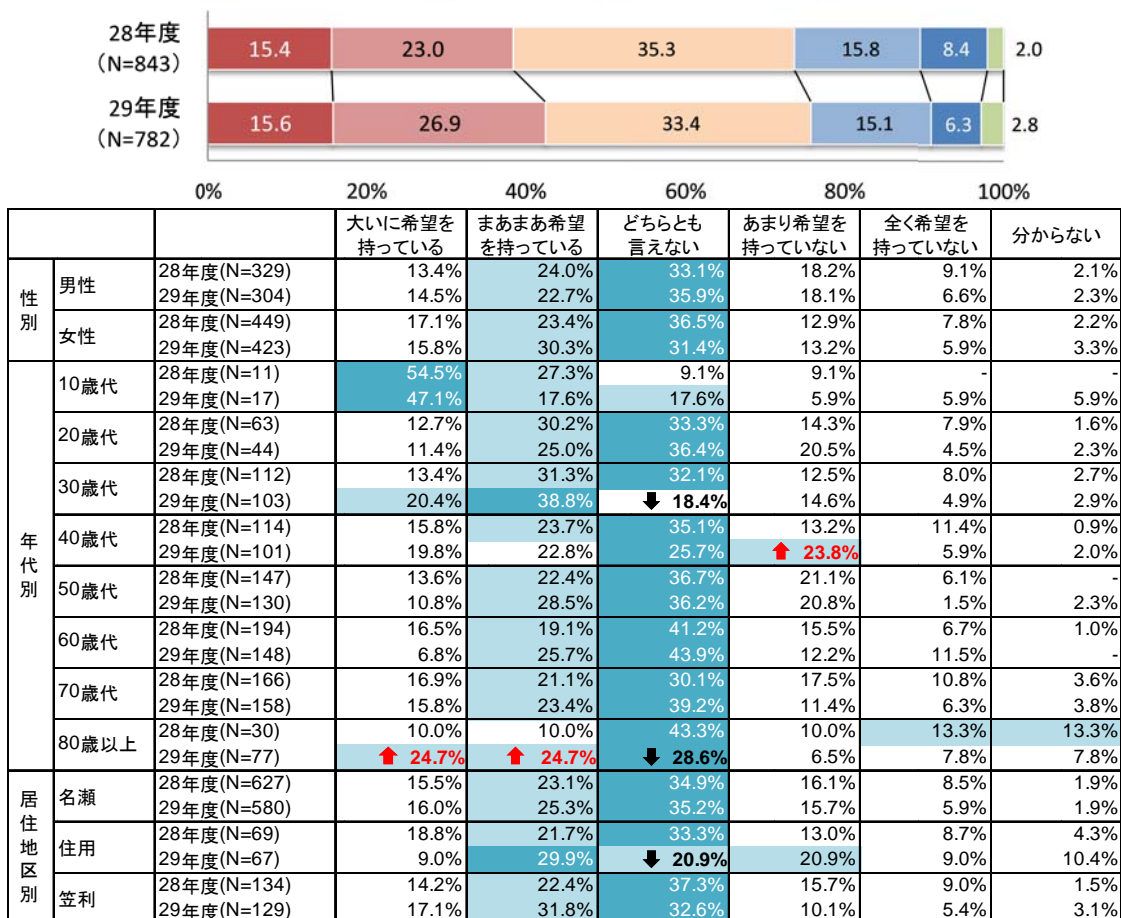
注：平成 28 年度から 10 ポイント以上増加しているところを ↑ 赤太字、10 ポイント以上減少しているところを ↓ 黒太字で表記している。以下同様。

将来に希望を持っているか(将来への希望度)について、平成29年度は平成28年度から「まあまあ希望を持っている」が3.9ポイント増加し、『希望を持っている』が4.1ポイント増加、『希望を持っていない』が2.8ポイント減少した。

10ポイント以上増減しているのは、年代別では40歳代の「あまり希望を持っていない」、80歳以上の「大いに希望を持っている」と「まあまあ希望を持っている」が増加、30歳代の「どちらとも言えない」と80歳以上の「どちらとも言えない」が減少、居住地区別では住用の「どちらとも言えない」が減少となっている。

〔将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？〕

■ 大いに希望を持っている ■ まあまあ希望を持っている ■ どちらとも言えない ■ あまり希望を持っていない ■ 全く希望を持っていない ■ 分からない



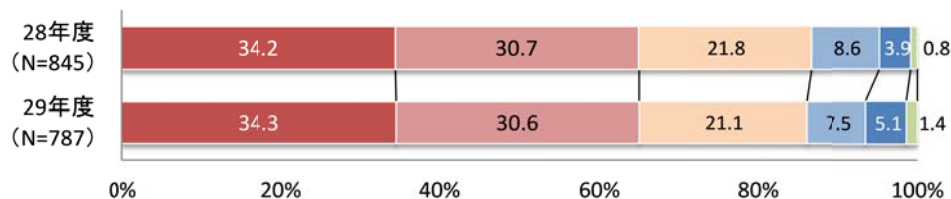


困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいるか（結い度）について、平成 29 年度は平成 28 年度と比べ、全体では 3 ポイント以上の変化はみられなかった。

10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「まあまあいる」と 30 歳代の「大いにいる」が増加、10 歳代の「どちらとも言えない」と 20 歳代の「大いにいる」、80 歳以上の「まあまあいる」が減少、居住地区別では住用の「大いにいる」が減少となっている。

〔結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？〕

■ 大いにいる ■ まあまあいる ■ どちらとも言えない ■ あまりいない ■ 全くいない ■ 分からない

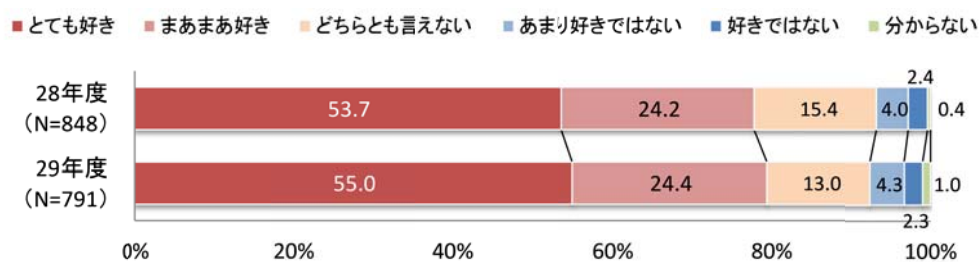


		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
			大いにいる	まあまあいる	どちらとも言えない	あまりいない	全くいない	分からない
性別	男性	28年度(N=328)	23.8%	37.2%	24.4%	8.8%	4.3%	1.5%
	29年度(N=306)	26.1%	28.4%	27.5%	11.1%	5.9%	1.0%	
女性	28年度(N=453)	41.7%	27.4%	19.9%	7.9%	2.6%	0.4%	
	29年度(N=425)	39.8%	32.9%	16.5%	5.2%	3.8%	1.9%	
年代別	10歳代	28年度(N=11)	45.5%	18.2%	27.3%	9.1%	-	-
		29年度(N=17)	52.9%	↑ 29.4%	↓ 5.9%	5.9%	5.9%	-
	20歳代	28年度(N=63)	38.1%	36.5%	14.3%	9.5%	1.6%	-
		29年度(N=45)	↓ 20.0%	42.2%	22.2%	8.9%	4.4%	2.2%
	30歳代	28年度(N=112)	33.0%	31.3%	23.2%	7.1%	3.6%	1.8%
		29年度(N=103)	↑ 45.6%	25.2%	17.5%	7.8%	2.9%	1.0%
	40歳代	28年度(N=113)	38.1%	29.2%	18.6%	8.8%	3.5%	1.8%
		29年度(N=100)	30.0%	32.0%	22.0%	12.0%	4.0%	-
	50歳代	28年度(N=148)	34.5%	33.8%	18.2%	10.8%	2.7%	-
		29年度(N=130)	30.8%	32.3%	27.7%	7.7%	1.5%	-
60歳代	28年度(N=194)	29.4%	28.9%	28.4%	7.7%	4.6%	1.0%	
	29年度(N=150)	28.7%	30.7%	22.0%	7.3%	9.3%	2.0%	
70歳代	28年度(N=167)	33.5%	28.7%	22.2%	9.6%	5.4%	0.6%	
	29年度(N=160)	35.0%	34.4%	18.8%	6.3%	5.6%	-	
80歳以上	28年度(N=31)	41.9%	32.3%	16.1%	3.2%	6.5%	-	
	29年度(N=78)	46.2%	↓ 17.9%	17.9%	3.8%	6.4%	7.7%	
居住地区別	名瀬	28年度(N=626)	31.8%	32.4%	22.0%	8.5%	4.2%	1.1%
		29年度(N=583)	32.9%	30.9%	22.0%	7.5%	5.7%	1.0%
	住用	28年度(N=69)	46.4%	24.6%	21.7%	5.8%	1.4%	-
		29年度(N=67)	↓ 32.8%	31.3%	16.4%	10.4%	3.0%	6.0%
笠利	28年度(N=137)	36.5%	25.5%	21.9%	11.7%	4.4%	-	
	29年度(N=131)	42.0%	30.5%	19.1%	6.1%	1.5%	0.8%	

奄美が好きか（愛着度）について、平成 29 年度は平成 28 年度と比べ、全体では 3 ポイント以上の変化はみられなかった。

10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「どちらとも言えない」と「好きではない」、80 歳以上の「とても好き」が増加、10 歳代の「とても好き」が減少、居住地区別では笠利の「とても好き」が増加、住用の「とても好き」が減少となっている。

〔愛着度／あなたは奄美が好きですか？〕

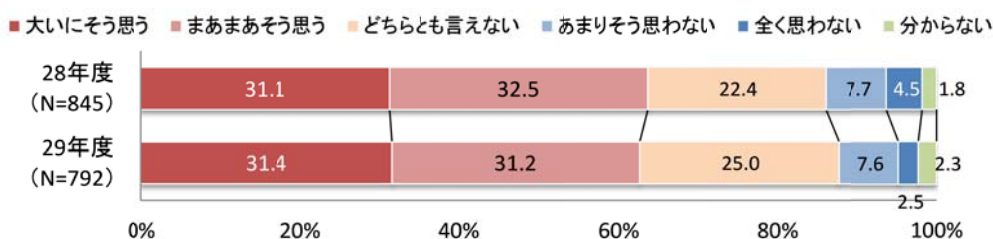


			とても好き	まあまあ好き	どちらとも言えない	あまり好きではない	好きではない	分からない
性別	男性	28年度(N=329)	52.0%	26.4%	15.2%	4.6%	1.5%	0.3%
		29年度(N=306)	52.9%	24.8%	13.7%	4.6%	3.6%	0.3%
	女性	28年度(N=453)	54.1%	23.0%	15.7%	3.5%	3.3%	0.4%
		29年度(N=429)	55.2%	25.6%	12.4%	4.2%	1.2%	1.4%
年代別	10歳代	28年度(N=11)	90.9%	9.1%	-	-	-	-
		29年度(N=17)	↓ 58.8%	17.6%	↑ 11.8%	-	↑ 11.8%	-
	20歳代	28年度(N=63)	44.4%	28.6%	17.5%	7.9%	1.6%	-
		29年度(N=45)	48.9%	26.7%	13.3%	6.7%	2.2%	2.2%
	30歳代	28年度(N=112)	36.6%	37.5%	16.1%	4.5%	4.5%	0.9%
		29年度(N=103)	40.8%	33.0%	20.4%	3.9%	1.9%	-
	40歳代	28年度(N=114)	45.6%	26.3%	16.7%	4.4%	5.3%	1.8%
		29年度(N=101)	43.6%	27.7%	16.8%	9.9%	2.0%	-
	50歳代	28年度(N=148)	55.4%	24.3%	17.6%	1.4%	1.4%	-
		29年度(N=130)	49.2%	31.5%	13.1%	3.8%	-	2.3%
60歳代	28年度(N=195)	61.0%	17.4%	16.9%	4.1%	0.5%	-	
	29年度(N=150)	55.3%	24.7%	12.7%	3.3%	4.0%	-	
70歳代	28年度(N=168)	59.5%	21.4%	11.9%	4.8%	2.4%	-	
	29年度(N=162)	68.5%	16.0%	10.5%	3.1%	1.9%	-	
80歳以上	28年度(N=31)	61.3%	22.6%	9.7%	3.2%	3.2%	-	
	29年度(N=79)	↑ 72.2%	13.9%	3.8%	2.5%	2.5%	5.1%	
居住地区別	名瀬	28年度(N=628)	52.5%	24.2%	15.6%	4.9%	2.2%	0.5%
		29年度(N=588)	52.7%	26.4%	13.3%	4.8%	2.2%	0.7%
	住用	28年度(N=69)	56.5%	26.1%	14.5%	-	2.9%	-
		29年度(N=67)	↓ 44.8%	23.9%	19.4%	3.0%	3.0%	6.0%
	笠利	28年度(N=138)	55.1%	23.9%	15.9%	2.2%	2.9%	-
		29年度(N=130)	↑ 72.3%	15.4%	7.7%	3.1%	1.5%	-

子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思うか（教育環境の満足度）について、平成29年度は平成28年度と比べ、全体では3ポイント以上の変化はみられなかった。

10ポイント以上増減しているのは、年代別では30歳代の「まあまあ思う」が減少、居住地区別では笠利の「大いに思う」が増加、住用の「大いに思う」と笠利の「まあまあ思う」が減少となっている。

〔教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島だと思いますか？〕

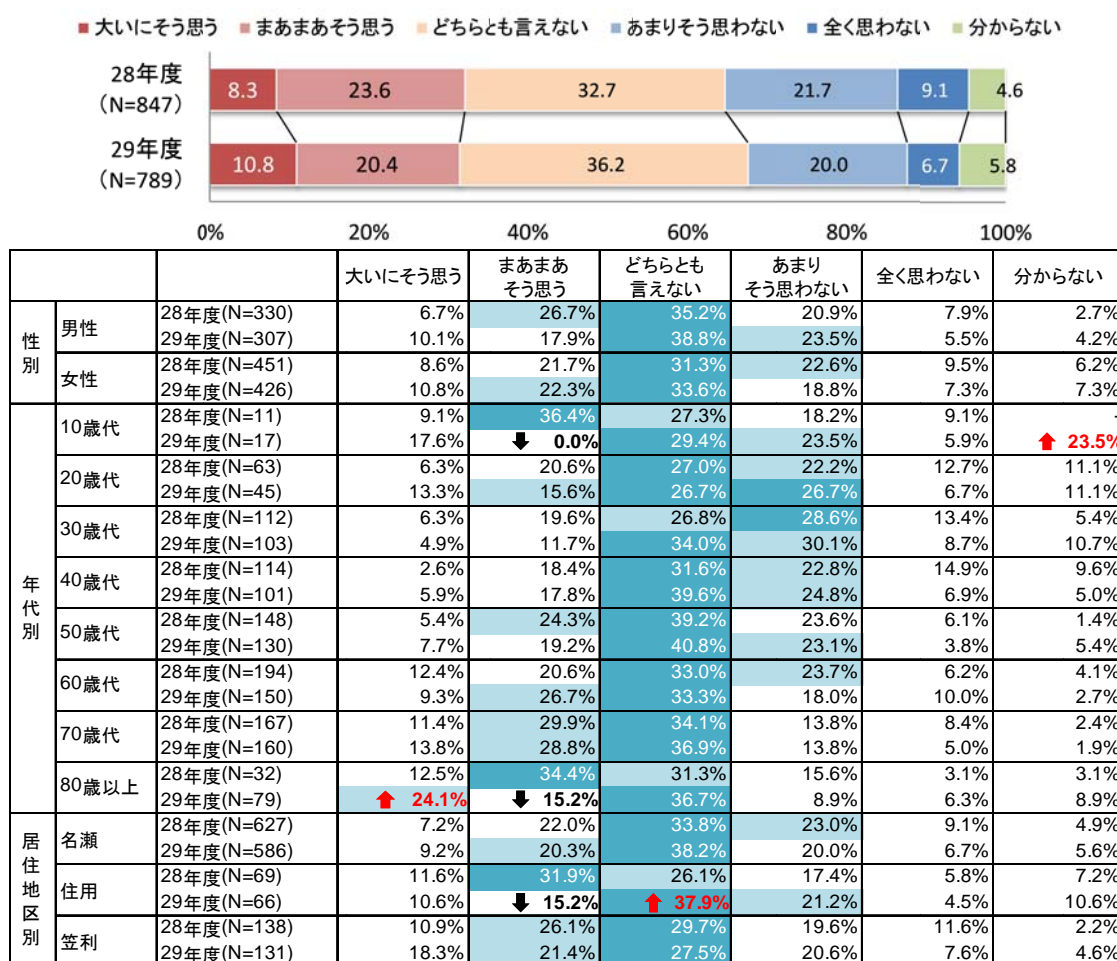


		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
		大いに思う	まあまあ思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全く思わない	分からない	
性別	男性	28年度(N=328) 29年度(N=307)	29.9% 29.3%	30.8% 32.2%	25.6% 24.1%	8.2% 8.1%	4.6% 3.9%	0.9% 2.3%
	女性	28年度(N=451) 29年度(N=430)	31.7% 32.1%	32.8% 32.1%	20.4% 25.6%	8.0% 6.5%	4.4% 1.2%	2.7% 2.6%
年代別	10歳代	28年度(N=11) 29年度(N=17)	54.5% 52.9%	27.3% 17.6%	9.1% 5.9%	- 5.9%	- 5.9%	9.1% 11.8%
		20歳代	28年度(N=63) 29年度(N=45)	34.9% 26.7%	27.0% 35.6%	20.6% 24.4%	11.1% 4.4%	6.3% 6.7%
	30歳代		28年度(N=112) 29年度(N=103)	26.8% 35.9%	35.7% ↓ 25.2%	19.6% 26.2%	12.5% 7.8%	4.5% 2.9%
		40歳代	28年度(N=114) 29年度(N=101)	33.3% 31.7%	32.5% 31.7%	19.3% 25.7%	6.1% 9.9%	6.1% 1.0%
	50歳代		28年度(N=147) 29年度(N=130)	27.9% 20.8%	38.8% 40.0%	24.5% 25.4%	6.1% 9.2%	2.7% 3.1%
		60歳代	28年度(N=193) 29年度(N=151)	27.5% 25.8%	32.6% 32.5%	24.9% 28.5%	8.8% 9.9%	4.1% 2.0%
	70歳代		28年度(N=167) 29年度(N=161)	35.9% 38.5%	28.7% 29.2%	22.2% 23.6%	4.8% 5.6%	5.4% 1.9%
		80歳以上	28年度(N=32) 29年度(N=80)	28.1% 37.5%	28.1% 27.5%	28.1% 21.3%	9.4% 2.5%	3.1% 2.5%
	居住地区別		名瀬	28年度(N=626) 29年度(N=588)	29.7% 28.6%	33.2% 33.5%	22.8% 25.2%	7.8% 8.5%
住用		28年度(N=68) 29年度(N=67)		39.7% ↓ 22.4%	22.1% 23.9%	27.9% 35.8%	5.9% 6.0%	2.9% 4.5%
		笠利	28年度(N=138) 29年度(N=131)	32.6% ↑ 49.6%	35.5% ↓ 25.2%	16.7% 18.3%	8.0% 3.8%	6.5% 1.5%

高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思うか（医療・福祉環境の満足度）について、平成29年度は平成28年度から「まあまあそう思う」が3.2ポイント減少、「どちらとも言えない」が3.5ポイント増加し、『そう思う』が0.7ポイント減少、『そう思わない』が4.1ポイント減少した。

10ポイント以上増減しているのは、年代別では10歳代の「分からない」と80歳以上の「大いにそう思う」が増加、10歳代の「まあまあそう思う」と80歳以上の「まあまあそう思う」が減少、居住地区別では住用の「どちらとも言えない」が増加、「まあまあそう思う」が減少となっている。

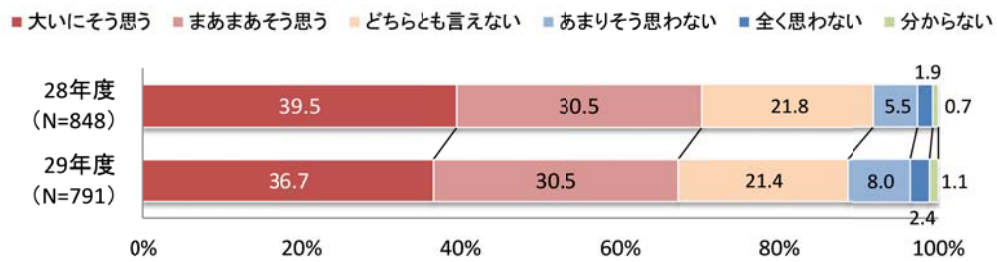
〔医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？〕



地元産の食材を食べた時に幸せだと思うか（地産地消費）について、平成 29 年度は平成 28 年度から、『そう思う』が 2.8 ポイント減少、『そう思わない』が 3.0 ポイント増加した。

10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「どちらとも言えない」と「全く思わない」が増加、10 歳代の「大いにそう思う」が減少、居住地区別では住用の「大いにそう思う」が減少となっている。

〔地産地消費／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？〕



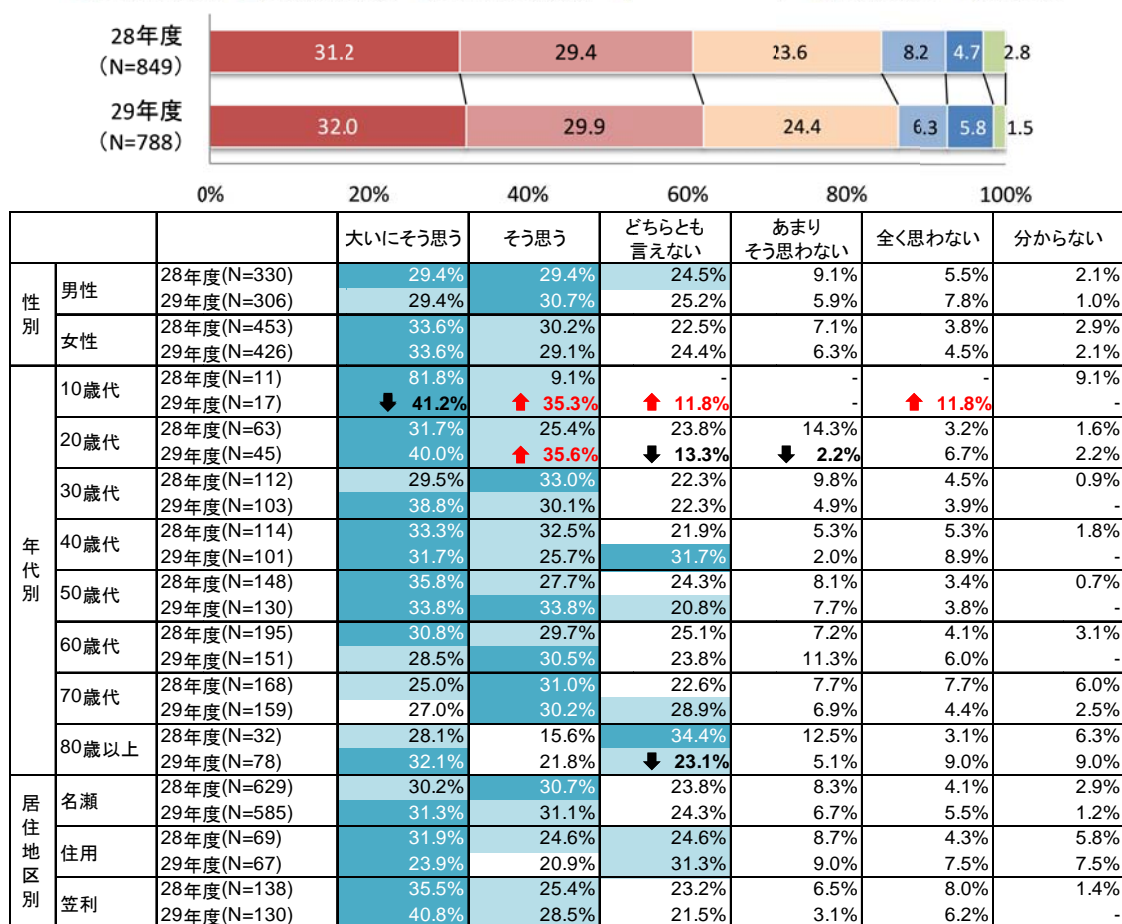
			大いにそう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない
性別	男性	28年度(N=330)	30.9%	33.3%	23.6%	8.5%	2.7%	0.9%
		29年度(N=306)	29.1%	32.0%	24.5%	9.8%	3.9%	0.7%
	女性	28年度(N=452)	45.4%	29.4%	19.9%	3.3%	1.3%	0.7%
		29年度(N=429)	40.8%	29.8%	20.3%	6.1%	1.4%	1.6%
年代別	10歳代	28年度(N=11)	72.7%	9.1%	18.2%	-	-	-
		29年度(N=17)	↓ 29.4%	17.6%	↑ 29.4%	5.9%	↑ 11.8%	5.9%
	20歳代	28年度(N=63)	38.1%	33.3%	20.6%	6.3%	1.6%	-
		29年度(N=45)	31.1%	33.3%	26.7%	2.2%	4.4%	2.2%
	30歳代	28年度(N=112)	31.3%	33.0%	24.1%	5.4%	3.6%	2.7%
		29年度(N=103)	35.0%	28.2%	22.3%	10.7%	3.9%	-
	40歳代	28年度(N=114)	38.6%	28.1%	22.8%	6.1%	4.4%	-
		29年度(N=101)	30.7%	27.7%	26.7%	13.9%	1.0%	-
	50歳代	28年度(N=148)	38.5%	37.2%	18.2%	6.1%	-	-
		29年度(N=129)	31.0%	36.4%	22.5%	8.5%	0.8%	0.8%
60歳代	28年度(N=194)	42.3%	24.2%	25.3%	7.7%	0.5%	-	
	29年度(N=151)	35.8%	33.1%	19.9%	8.6%	2.6%	-	
70歳代	28年度(N=168)	41.1%	32.1%	20.2%	3.0%	2.4%	1.2%	
	29年度(N=161)	44.7%	29.2%	19.9%	5.0%	1.2%	-	
80歳以上	28年度(N=32)	43.8%	34.4%	12.5%	3.1%	3.1%	3.1%	
	29年度(N=80)	46.3%	26.3%	11.3%	5.0%	3.8%	7.5%	
居住地区別	名瀬	28年度(N=628)	37.3%	32.0%	21.5%	6.5%	1.9%	0.8%
		29年度(N=587)	34.8%	32.0%	22.0%	8.3%	2.2%	0.7%
	住用	28年度(N=69)	42.0%	30.4%	23.2%	-	2.9%	1.4%
		29年度(N=67)	↓ 19.4%	34.3%	28.4%	7.5%	4.5%	6.0%
	笠利	28年度(N=138)	47.8%	23.9%	22.5%	4.3%	1.4%	0.8%
		29年度(N=131)	54.2%	22.9%	14.5%	6.1%	1.5%	0.8%

奄美に友人・知人を呼びたいと思うか（招待意向度）について、平成29年度は平成28年度と比べ、全体では3ポイント以上の変化はみられなかった。

10ポイント以上増減しているのは、年代別では10歳代の「そう思う」と「どちらとも言えない」、「全く思わない」と20歳代の「そう思う」が増加、10歳代の「大いにそう思う」と20歳代の「どちらとも言えない」と「あまりそう思わない」、80歳以上の「どちらとも言えない」が減少となっている。

〔招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？〕

■ 大いにそう思う ■ まあまあそう思う ■ どちらとも言えない ■ あまりそう思わない ■ 全く思わない ■ 分からない

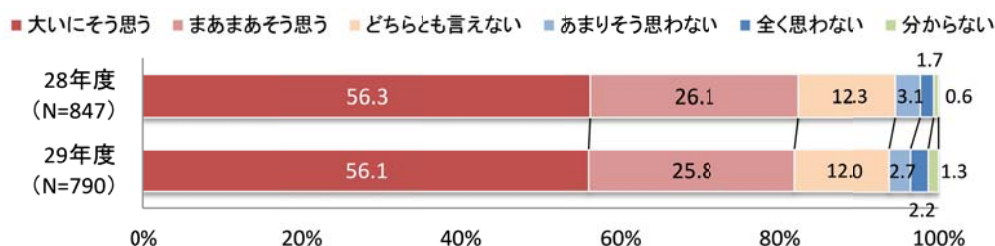




島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいか（おもてなし意向度）について、平成 29 年度は平成 28 年度と比べ、全体では 3 ポイント以上の変化はみられなかった。

10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「どちらとも言えない」と 20 歳代の「まあまあそう思う」が増加、10 歳代の「大いにそう思う」が減少、居住地区別では住用の「大いにそう思う」が減少となっている。

〔おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？〕

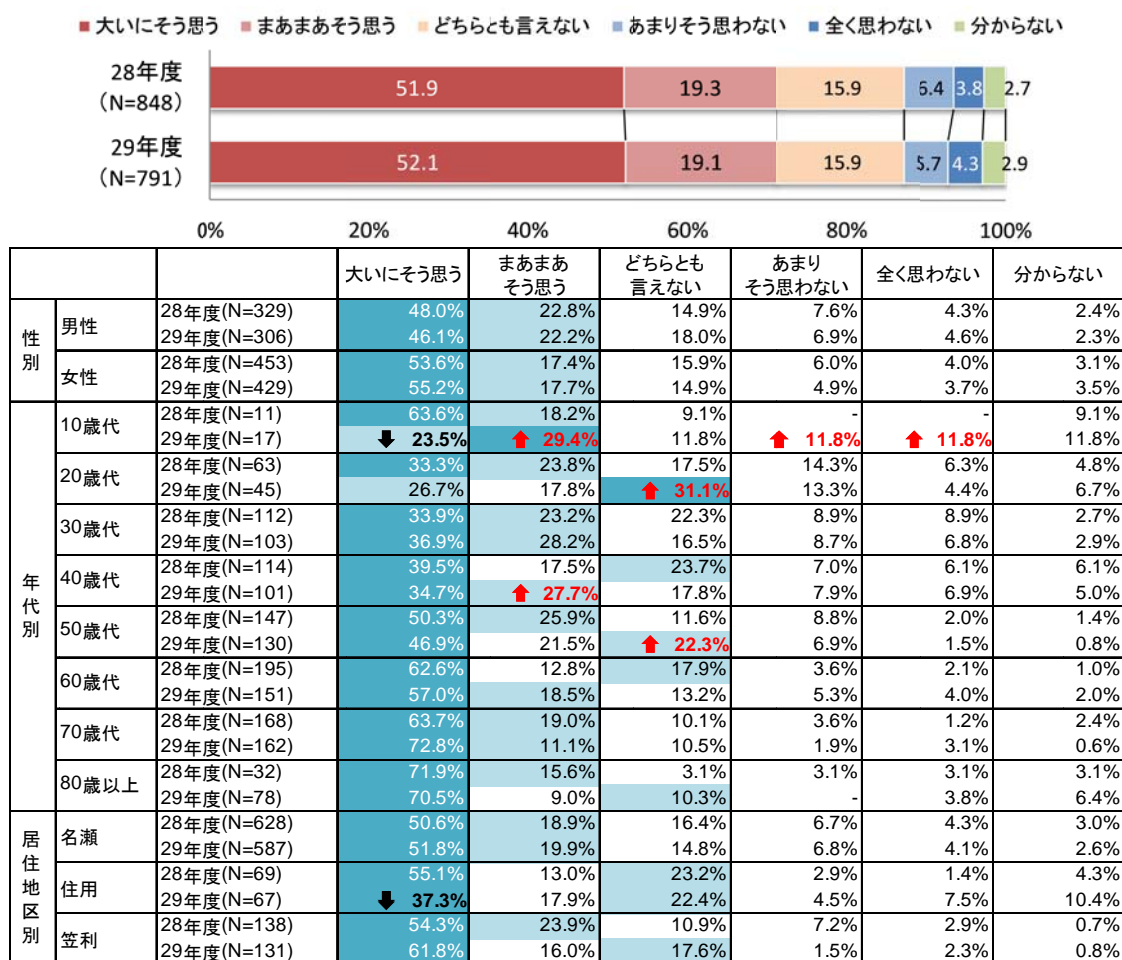


			大いにそう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない
性別	男性	28年度(N=330)	55.5%	27.3%	12.4%	2.4%	1.8%	0.6%
		29年度(N=307)	51.5%	25.4%	16.0%	2.9%	2.9%	1.3%
女性		28年度(N=451)	57.4%	25.3%	12.0%	3.5%	1.1%	0.7%
		29年度(N=427)	57.8%	27.6%	9.6%	2.6%	0.9%	1.4%
年代別	10歳代	28年度(N=11)	90.9%	9.1%	-	-	-	-
		29年度(N=17)	↓ 41.2%	11.8%	↑ 41.2%	-	5.9%	-
	20歳代	28年度(N=63)	55.6%	30.2%	11.1%	3.2%	-	-
		29年度(N=45)	46.7%	↑ 46.7%	6.7%	-	-	-
	30歳代	28年度(N=112)	55.4%	25.0%	8.9%	7.1%	2.7%	0.9%
		29年度(N=103)	61.2%	20.4%	15.5%	1.9%	1.0%	-
	40歳代	28年度(N=114)	53.5%	29.8%	11.4%	3.5%	0.9%	0.9%
		29年度(N=101)	53.5%	24.8%	17.8%	3.0%	-	1.0%
	50歳代	28年度(N=148)	59.5%	23.0%	14.2%	2.0%	1.4%	-
		29年度(N=130)	59.2%	26.9%	9.2%	2.3%	0.8%	1.5%
60歳代	28年度(N=195)	59.5%	26.7%	11.3%	1.5%	1.0%	-	
	29年度(N=150)	52.7%	27.3%	10.7%	4.0%	4.7%	0.7%	
70歳代	28年度(N=166)	50.0%	27.1%	15.1%	3.0%	3.0%	1.8%	
	29年度(N=161)	57.1%	26.1%	11.2%	1.9%	3.1%	0.6%	
80歳以上	28年度(N=32)	56.3%	25.0%	12.5%	3.1%	3.1%	-	
	29年度(N=79)	60.8%	19.0%	6.3%	5.1%	2.5%	6.3%	
居住地区別	名瀬	28年度(N=627)	56.0%	26.5%	12.6%	2.9%	1.4%	0.6%
		29年度(N=586)	56.5%	26.5%	11.3%	3.1%	2.0%	0.7%
	住用	28年度(N=69)	52.2%	27.5%	14.5%	1.4%	2.9%	1.4%
		29年度(N=67)	↓ 41.8%	25.4%	22.4%	1.5%	3.0%	6.0%
笠利	28年度(N=138)	59.4%	23.9%	9.4%	5.1%	2.2%	-	
	29年度(N=131)	63.4%	22.1%	10.7%	1.5%	0.8%	1.5%	

奄美に今後も住みたいか（永住希望度）について、平成 29 年度は平成 28 年度と比べ、全体では 3 ポイント以上の変化はみられなかった。

10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「まあまあ思う」と「あまりそう思わない」、「全く思わない」、20 歳代の「どちらとも言えない」、40 歳代の「まあまあ思う」、50 歳代の「どちらとも言えない」が増加、10 歳代の「大いに思う」が減少、居住地区別では住用の「大いに思う」が減少となっている。

〔永住希望度／あなたは奄美に今後も住みたいですか？〕



## 参考資料

### アンケート調査票



問1 あなたの実感に最も近い番号に1つ〇をつけて下さい。

項目	まったく 思わない  大いに 思う					分から ない
	1	2	3	4	5	
あなたは日常生活に対して満足していますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは将来に希望を持っていますか？	1	2	3	4	5	0
あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは奄美が好きですか？	1	2	3	4	5	0
奄美は、子どもがいいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？	1	2	3	4	5	0
奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？	1	2	3	4	5	0
あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？	1	2	3	4	5	0

問2 あなたが、日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？  
また、日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？  
自由にご記入ください。

「幸せ」または「満足」に感じること：
「不幸」または「不満」に感じること：

※あなたご自身のことについておうかがいします。

◎あなたの性別、年齢、居住地区をお答えください（各〇は1つ。）

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳代以上
居住地区	1. 名瀬	2. 住用	3. 笠利	

平成 29 年度奄美市幸福度調査アンケート  
調査結果報告書

平成 30 年 2 月

実施主体／奄美市総務部企画調整課

〒894-8555 奄美市名瀬幸町 25 番 8 号

TEL 0997-52-1111 FAX 0997-52-1001

調査機関／株式会社九州経済研究所

〒892-0826 鹿児島市呉服町 3 番 10 号

TEL 099-225-7491 FAX 099-226-5975

<http://www.ker.co.jp>